

高知市教育委員会

説明資料

- | | |
|-----|--|
| 資料1 | 学力向上の取組の成果と課題、今後の取組について
「令和5年度 全国学力・学習状況調査結果概要資料」・・・ P1 |
| 資料2 | 不登校対策について
「高知市における不登校の状況について」・・・・・・・・・・ P26 |
| 資料3 | 保幼少連携・接続の取組について
「高知市の取組及び「保幼少の架け橋プログラム事業」の状況
について」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P32 |

令和5年度

全国学力・学習状況調査結果概要資料

1	令和5年度全国学力・学習状況調査の結果について	2
2	H19～R5全国学力・学習状況調査における高知市平均正答率と全国平均正答率との差の推移	3
3	小学校第6学年における教科別調査結果の比較	4
4	中学校第3学年における教科別調査結果の比較	5
5	各教科における高知市の学力の状況（小学校第6学年）	6
6	各教科における高知市の学力の状況（中学校第3学年）	7. 8
○	問題別調査結果	9～13
7	正答数分布の状況と四層分析の経年での比較（高知市と全国）【%】	14～16
8	高知市と高知市外との正答率の差の推移	17. 18
9	児童生徒質問紙調査の高知市の結果【抜粋】	19～24
10	質問紙調査から見られる課題（英語）	25



令和5年8月31日

高知市教育委員会

1 令和5年度全国学力・学習状況調査の結果について

調査の概要

(1) 調査の目的

- ◇ 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る
- ◇ 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる
- ◇ そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する

(2) 実施日 令和5年4月18日（火）

(3) 調査内容

- ◇ 小学校第6学年（義務教育学校前期課程を含む）、中学校第3学年（義務教育学校後期課程）の全児童生徒を対象
- ◇ 教科に関する調査は、国語、算数・数学、英語を出題
 - ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
 - ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等
- ◇ 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査を実施

(4) 高知市立学校の参加状況

◇ 参加学校数

小・義務教育学校（前期課程） 41校

中・義務教育学校（後期課程） 19校

小・中・義務教育学校合計学校数 58校

◇ 小学校解答（回答）児童数

国語	2,345名
算数	2,344名
児童質問紙	2,389名

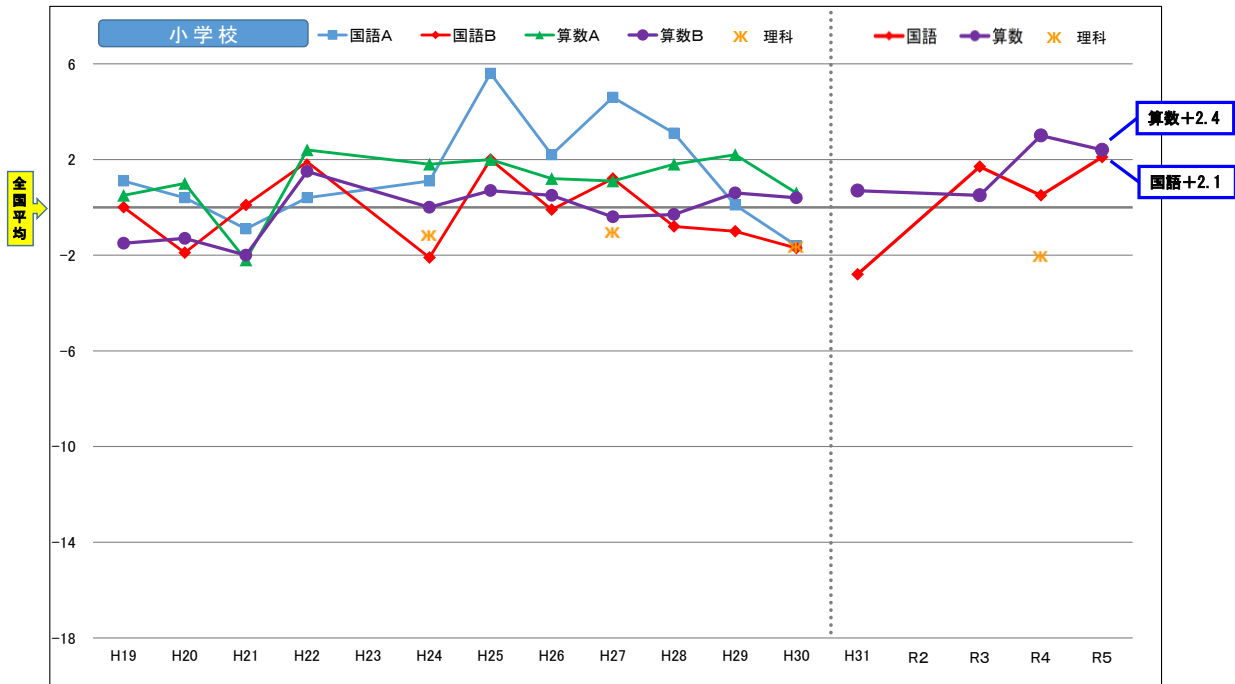
◇ 中学校解答（回答）生徒数

国語	1,682名
数学	1,682名
英語	1,683名
生徒質問紙	1,703名

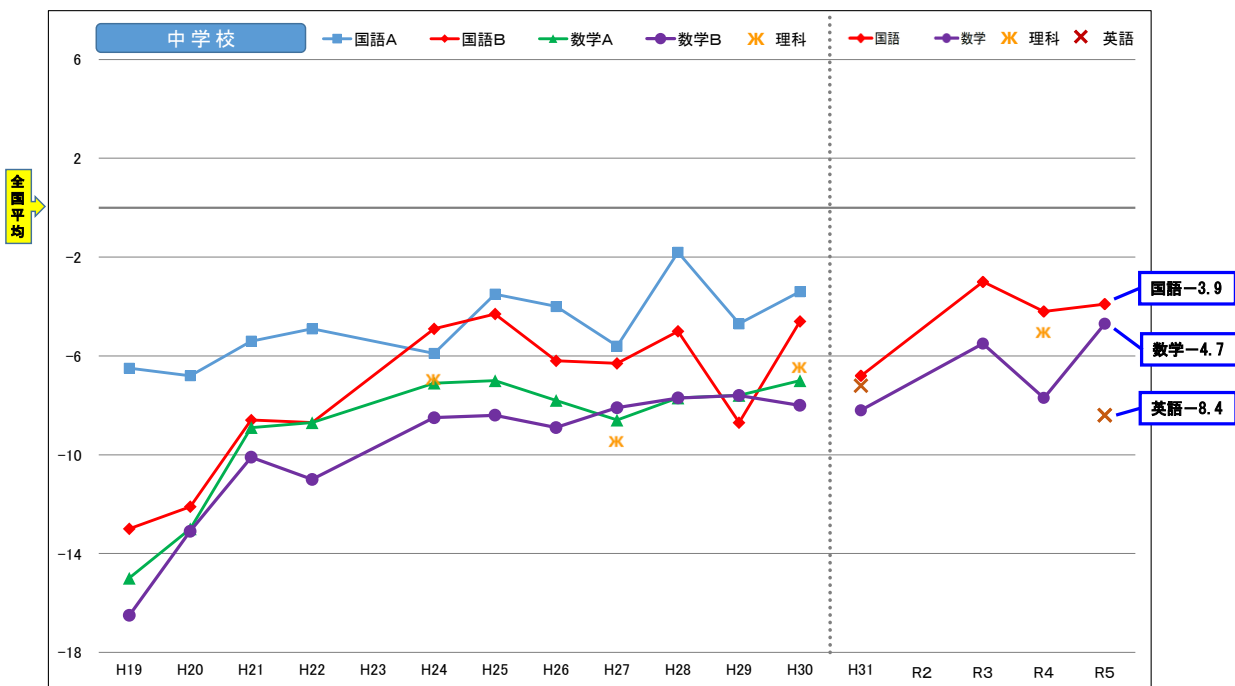
2 H19～R5全国学力・学習状況調査における高知市平均正答率と全国平均正答率との差の推移

・小学校においては、国語と算数で全国平均を上回っている。特に国語においては、昨年度の全国平均正答率との差より1.6ポイント上回っている。
 ・中学校においては、国語と数学で全国平均正答率との差を縮めている。特に数学においては、昨年度の全国平均正答率との差を3.0ポイント縮めている。英語では、H31調査における全国平均正答率との差より1.2ポイント開いている。

全国学力・学習状況調査結果 H19～R5における高知市平均と全国平均との差の推移



	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	
国語	A	1.1	0.4	-0.9	0.4		1.1	5.6	2.2	4.6	3.1	0.1	-1.6					
	B	0.0	-1.9	0.1	1.9		-2.1	2.0	-0.1	1.2	-0.8	-1.0	-1.7	-2.8		1.7	0.5	2.1
算数	A	0.5	1.0	-2.2	2.4		1.8	2.0	1.2	1.1	1.8	2.2	0.6			0.5	3.0	2.4
	B	-1.5	-1.3	-2.0	1.5		0.0	0.7	0.5	-0.4	-0.3	0.6	0.4	0.7				
理科						-1.1			-1.0									-2.0



	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	
国語	A	-6.5	-6.8	-5.4	-4.9		-5.9	-3.5	-4.0	-5.6	-1.8	-4.7	-3.4					
	B	-13.0	-12.1	-8.6	-8.7		-4.9	-4.3	-6.2	-6.3	-5.0	-8.7	-4.6	-6.8		-3.0	-4.2	-3.9
数学	A	-15.0	-13.0	-8.9	-8.7		-7.1	-7.0	-7.8	-8.6	-7.7	-7.6	-7.0			-5.5	-7.7	-4.7
	B	-16.5	-13.1	-10.1	-11.0		-8.5	-8.4	-8.9	-8.1	-7.7	-7.6	-8.0	-8.2				
理科						-6.9			-9.4			-6.4						-5.0
英語													-7.2					-8.4

3 小学校第6学年における教科別調査結果の比較

【令和5年度の学力の状況】

- ・国語の平均正答率における高知市と全国との差は +2.1ポイントであり、令和4年度の+0.5ポイントから1.6ポイント上回った。
- ・算数の平均正答率における高知市と全国との差は +2.4ポイントであり、令和4年度の+3.0ポイントから0.6ポイント下回った。

小学校(国語・算数)									
	国語平均正答率(%)			高知市と 全国との差	算数平均正答率(%)			高知市と 全国との差	
	高知市(公立)	高知県(公立)	全国(公立)		高知市(公立)	高知県(公立)	全国(公立)		
(A・B)	令和5年度	69.3	69.3	67.2	2.1	64.9	64.7	62.5	2.4
	令和4年度	66.1	66.3	65.6	0.5	66.2	65.7	63.2	3.0
	令和3年度	66.4	66.9	64.7	1.7	70.7	70.8	70.2	0.5
	平成31年度	61.0	64.0	63.8	-2.8	67.3	68.3	66.6	0.7
A 問題 (知識)	平成30年度	69.1	70.0	70.7	-1.6	64.1	64.8	63.5	0.6
	平成29年度	74.9	74.9	74.8	0.1	80.8	81.6	78.6	2.2
	平成28年度	76.0	77.2	72.9	3.1	79.4	80.4	77.6	1.8
	平成27年度	74.6	73.4	70.0	4.6	76.3	77.0	75.2	1.1
	平成26年度	75.1	74.4	72.9	2.2	79.3	79.2	78.1	1.2
	平成25年度	68.3	65.3	62.7	5.6	79.2	78.8	77.2	2.0
	平成24年度	82.7	82.1 (81.5~82.7)	81.6 (81.4~81.7)	1.1	75.1	74.7 (73.9~75.6)	73.3 (73.1~73.5)	1.8
	平成23年度	81.4	81.0			82.4	82.3		
	平成22年度	83.7	82.8 (82.2~83.5)	83.3 (83.2~83.5)	0.4	76.6	75.3 (74.3~76.3)	74.2 (74.0~74.4)	2.4
	平成21年度	69.0	68.5	69.9	-0.9	76.5	76.4	78.7	-2.2
	平成20年度	65.8	65.0	65.4	0.4	73.2	72.6	72.2	1.0
	平成19年度	82.8	81.7	81.7	1.1	82.6	81.6	82.1	0.5
	B 問題 (活用)	平成30年度	53.0	54.9	54.7	-1.7	51.9	52.7	51.5
平成29年度		56.5	56.8	57.5	-1.0	46.5	46.2	45.9	0.6
平成28年度		57.0	57.7	57.8	-0.8	46.9	47.3	47.2	-0.3
平成27年度		66.6	67.0	65.4	1.2	44.6	44.6	45.0	-0.4
平成26年度		55.4	55.0	55.5	-0.1	58.7	57.9	58.2	0.5
平成25年度		51.4	49.8	49.4	2.0	59.1	57.9	58.4	0.7
平成24年度		53.5	53.4 (52.4~54.3)	55.6 (55.4~55.8)	-2.1	58.9	58.1 (57.1~59.1)	58.9 (58.7~59.1)	0.0
平成23年度		46.6	44.3			47.4	46.2		
平成22年度		79.7	78.1 (77.2~79.0)	77.8 (77.7~78.0)	1.9	50.8	48.2 (47.2~49.2)	49.3 (49.1~49.5)	1.5
平成21年度		50.6	49.5	50.5	0.1	52.8	52.1	54.8	-2.0
平成20年度		48.6	47.7	50.5	-1.9	50.3	49.3	51.6	-1.3
平成19年度	62.0	60.0	62.0	0.0	62.1	60.7	63.6	-1.5	

小学校(理科)

	小学校平均正答率(%)			高知市と 全国との差
	高知市(公立)	高知県(公立)	全国(公立)	
令和4年度	61.3	63.0	63.3	-2.0
平成30年度	58.7	59.9	60.3	-1.6
平成27年度	59.8	60.3	60.8	-1.0
平成24年度	59.8	59.6 (58.8~60.4)	60.9 (60.8~61.1)	-1.1

※平成22・24年度は抽出調査のため、平均正答率の推計値で示している。

()の数値は平均正答率の95%信頼区間を示している。

※平成23年度は全国学力・学習状況調査問題を活用した希望利用調査の結果を示している。

※理科の調査については、全国的な学力調査の在り方等の検討に関する専門家会議がまとめた「平成23年度以降の全国的な学力調査の在り方に関する検討のまとめ」(平成23年3月)を踏まえ、平成24年度調査から、おおむね3年に一度実施している。

4 中学校第3学年における教科別調査結果の比較

【令和5年度の学力の状況】

- ・国語の平均正答率における高知市と全国との差は -3.9ポイントであり、令和4年度の -4.2ポイントから0.3ポイント上回った。
- ・数学の平均正答率における高知市と全国との差は -4.7ポイントであり、令和4年度の -7.7ポイントから3.0ポイント上回った。
- ・英語の平均正答率における高知市と全国との差は -8.4ポイントであり、平成31年度の -7.2ポイントから1.2ポイント下回った。

中学校(国語・数学)									
	国語平均正答率(%)			高知市と全国との差	数学平均正答率(%)			高知市と全国との差	
	高知市(公立)	高知県(公立)	全国(公立)		高知市(公立)	高知県(公立)	全国(公立)		
A・B	令和5年度	65.9	68.5	69.8	-3.9	46.3	48.6	51.0	-4.7
	令和4年度	64.8	67.1	69.0	-4.2	43.7	46.4	51.4	-7.7
	令和3年度	61.6	63.5	64.6	-3.0	51.7	54.6	57.2	-5.5
	平成31年度	66.0	70.8	72.8	-6.8	51.6	58.1	59.8	-8.2
A問題(知識)	平成30年度	72.7	75.3	76.1	-3.4	59.1	64.1	66.1	-7.0
	平成29年度	72.7	75.8	77.4	-4.7	57.0	61.9	64.6	-7.6
	平成28年度	73.8	75.4	75.6	-1.8	54.5	58.5	62.2	-7.7
	平成27年度	70.2	73.3	75.8	-5.6	55.8	59.9	64.4	-8.6
	平成26年度	75.4	77.2	79.4	-4.0	59.6	62.7	67.4	-7.8
	平成25年度	72.9	74.3	76.4	-3.5	56.7	59.3	63.7	-7.0
	平成24年度	69.2	72.5 (71.8~73.1)	75.1 (75.0~75.2)	-5.9	55.0	58.3 (57.4~59.2)	62.1 (62.0~62.3)	-7.1
	平成23年度	76.9	78.5			52.8	54.3		
	平成22年度	70.2	72.6 (72.0~73.3)	75.1 (75.0~75.2)	-4.9	55.9	59.5 (58.3~60.7)	64.6 (64.4~64.8)	-8.7
	平成21年度	71.6	74.2	77.0	-5.4	53.8	56.5	62.7	-8.9
	平成20年度	66.8	70.0	73.6	-6.8	50.1	54.5	63.1	-13.0
	平成19年度	75.1	78.1	81.6	-6.5	56.9	62.8	71.9	-15.0
	B問題(活用)	平成30年度	56.6	59.7	61.2	-4.6	38.9	43.2	46.9
平成29年度		63.5	68.9	72.2	-8.7	40.5	44.7	48.1	-7.6
平成28年度		61.5	65.2	66.5	-5.0	36.4	40.1	44.1	-7.7
平成27年度		59.5	62.9	65.8	-6.3	33.5	36.2	41.6	-8.1
平成26年度		44.8	47.7	51.0	-6.2	50.9	53.6	59.8	-8.9
平成25年度		63.1	64.8	67.4	-4.3	33.1	35.4	41.5	-8.4
平成24年度		58.4	61.6 (60.9~62.3)	63.3 (63.2~63.4)	-4.9	40.8	45.4 (44.3~46.6)	49.3 (49.2~49.5)	-8.5
平成23年度		59.1	61.0			43.3	45.2		
平成22年度		56.6	61.0 (60.0~62.1)	65.3 (65.1~65.5)	-8.7	32.3	36.6 (35.4~37.0)	43.3 (43.1~43.5)	-11.0
平成21年度		65.9	69.8	74.5	-8.6	46.8	49.7	56.9	-10.1
平成20年度	48.7	54.7	60.8	-12.1	36.0	41.5	49.2	-13.2	
平成19年度	59.0	64.0	72.0	-13.0	44.1	50.6	60.6	-16.5	

中学校(理科)

	中学校平均正答率(%)			高知市と全国との差
	高知市(公立)	高知県(公立)	全国(公立)	
令和4年度	44.3	46.5	49.3	-5.0
平成30年度	59.7	63.6	66.1	-6.4
平成27年度	43.6	47.3	53.0	-9.4
平成24年度	44.1	47.3 (46.5~48.0)	51.0 (50.9~51.1)	-6.9

中学校(英語)

	中学校平均正答率(%)			高知市と全国との差
	高知市(公立)	高知県(公立)	全国(公立)	
令和5年度	37.2	39.2	45.6	-8.4
平成31年度	48.8	52.0	56.0	-7.2

※平成22・24年度は抽出調査のため、平均正答率の推計値で示している。

()の数値は平均正答率の95%信頼区間を示している。

※平成23年度は全国学力・学習状況調査問題を活用した希望利用調査の結果を示している。

※理科の調査については、全国的な学力調査の在り方等の検討に関する専門家会議がまとめた「平成23年度以降の全国的な学力調査の在り方に関する検討のまとめ」(平成23年3月)を踏まえ、平成24年度調査から、おおむね3年に一度実施している。

※中学校英語の調査については、全国的な学力調査に関する専門家会議がまとめた「全国学力・学習状況調査における中学校の英語の実施に関する最終報告」(平成29年3月)を踏まえ、平成31年度調査からおおむね3年に一度実施している。

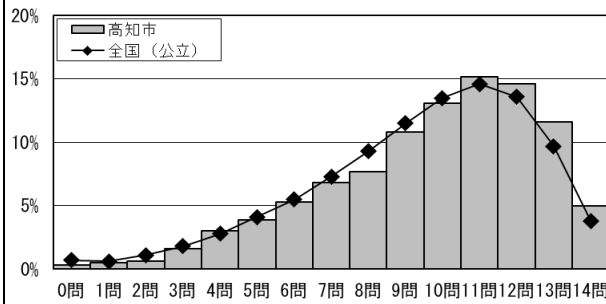
5 各教科における高知市の学力の状況（小学校第6学年）

- ・「正答数分布の状況」においては、国語、算数ともに、上位層の割合が全国よりも高くなっている。
- ・全ての領域、評価の観点においては、国語、算数ともに、正答率が全国よりも高く、成果が見られる。

【小学校国語】

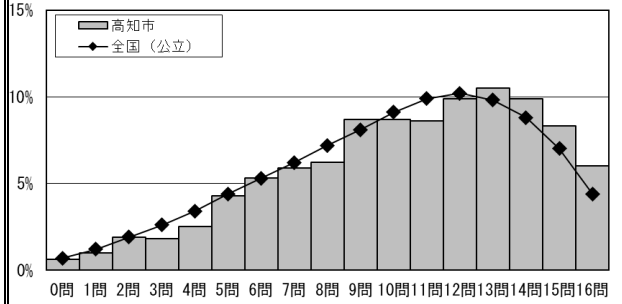
正答数分布の状況

国語	児童数	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
高知市	2,345	9.7/14	69.3	10.0	2.9
全国	964,177	9.4/14	67.2	10.0	2.9

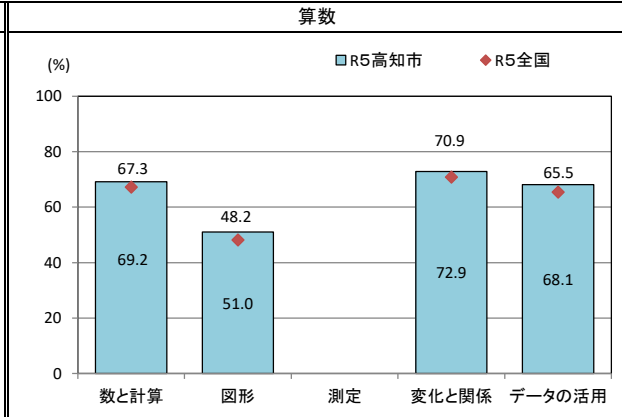
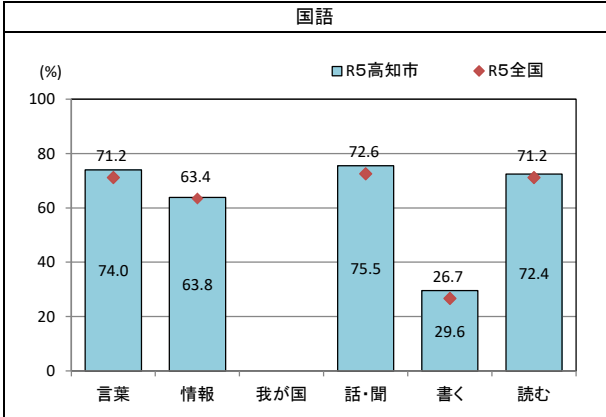


【小学校算数】

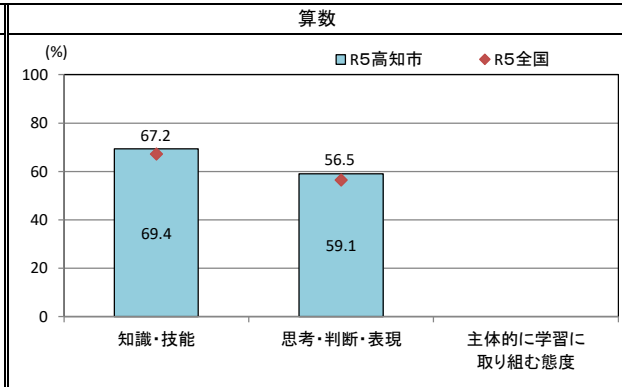
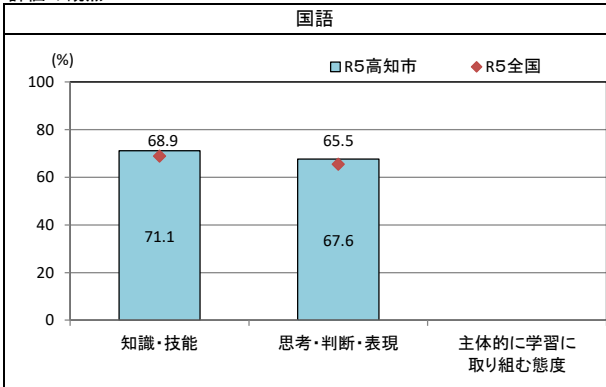
算数	児童数	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
高知市	2,344	10.4/16	64.9	11.0	3.8
全国	964,350	10.0/16	62.5	11.0	3.8



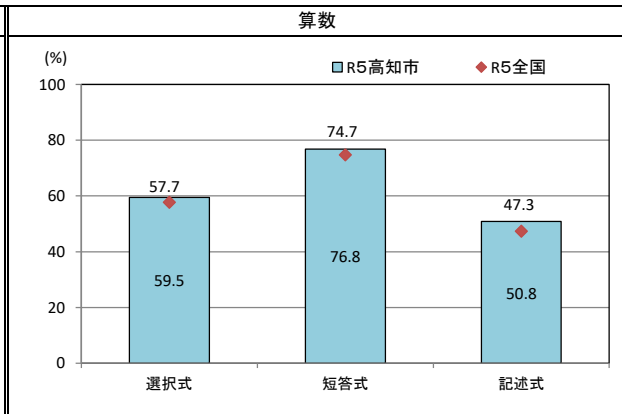
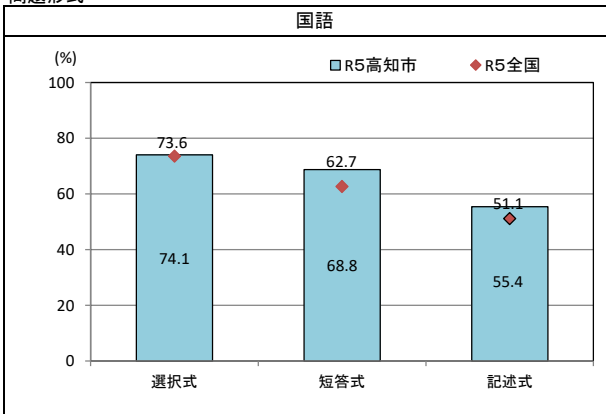
学習指導要領の領域



評価の観点



問題形式



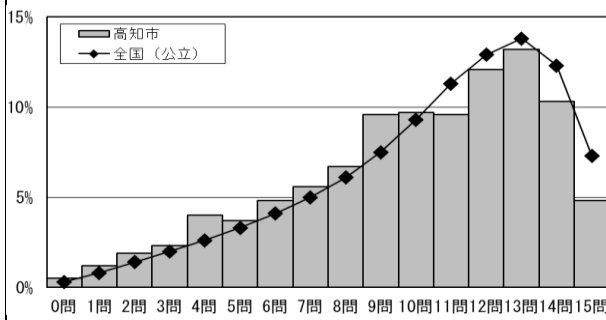
6 各教科における高知市の学力の状況（中学校第3学年）

- ・「正答数分布の状況」においては、国語、数学、英語ともに、中位層から下位層の割合が全国と比べて多くなっている。
- ・「評価の観点」においては、国語、数学、英語ともに、知識・技能の正答率に全国との差があり、課題が見られる。

【中学校国語】

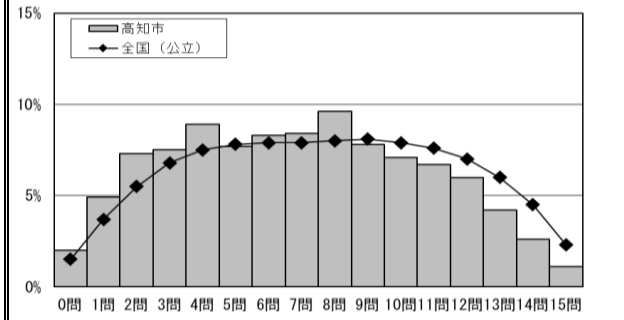
正答数分布の状況

国語	児童数	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
高知市	1,682	9.9/15	65.9	10.0	3.5
全国	892,738	10.5/15	69.8	11.0	3.4

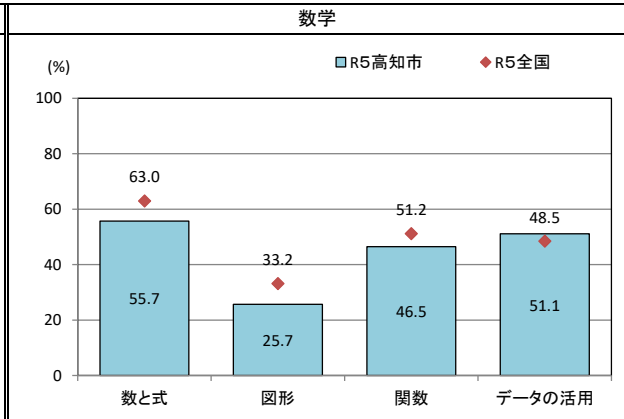
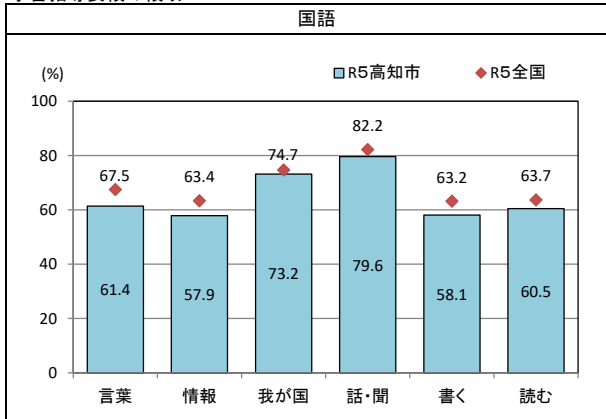


【中学校数学】

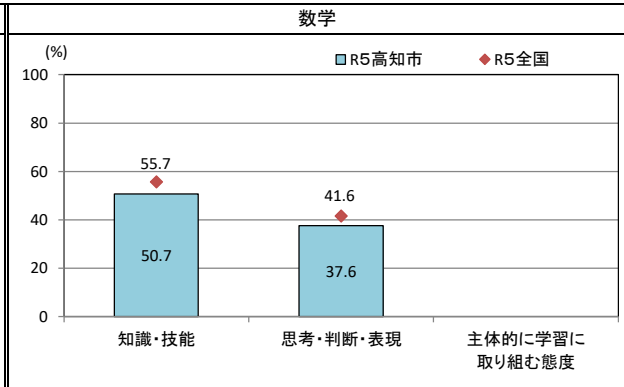
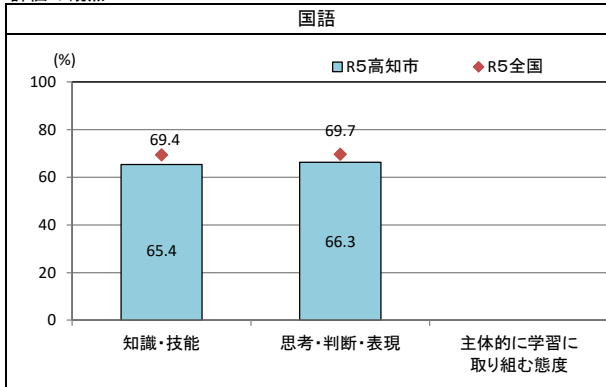
数学	児童数	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
高知市	1,682	6.9/15	46.3	7.0	3.8
全国	893,114	7.6/15	51.0	8.0	3.9



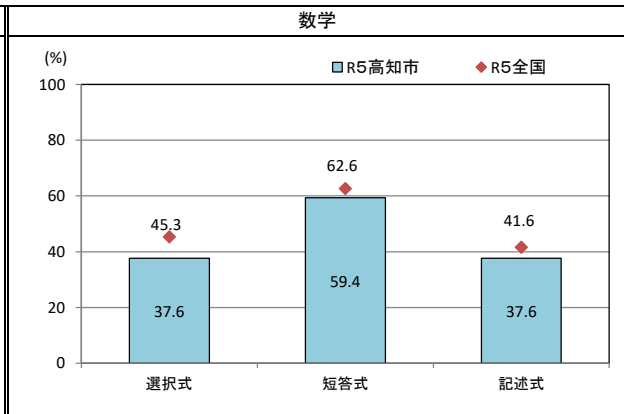
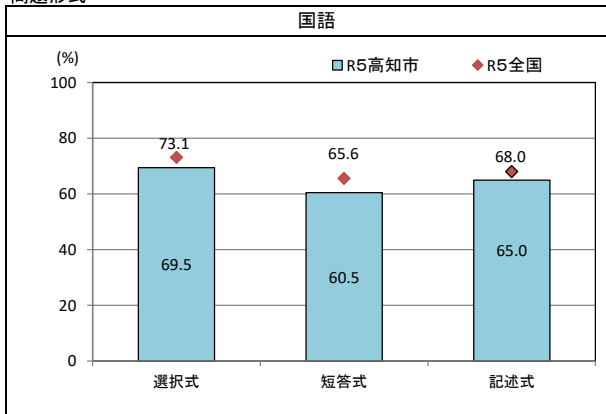
学習指導要領の領域



評価の観点



問題形式

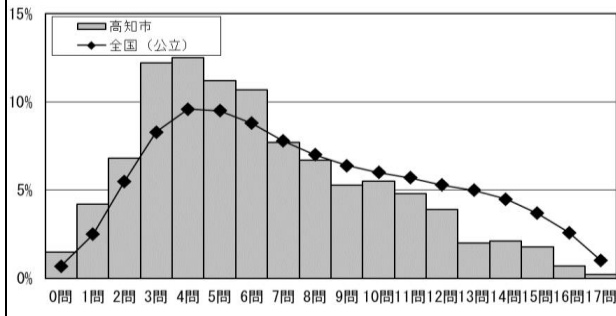


6 各教科における高知市の学力の状況（中学校第3学年）

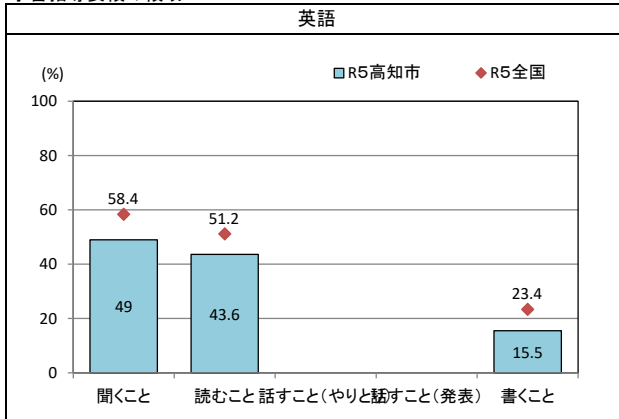
【中学校英語】

正答数分布の状況

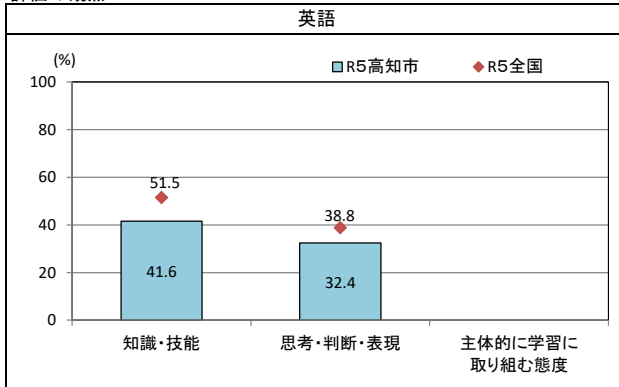
英語	児童数	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
高知市	1,683	6.3/17	37.2	6.0	3.7
全国	893,528	7.7/17	45.6	7.0	4.2



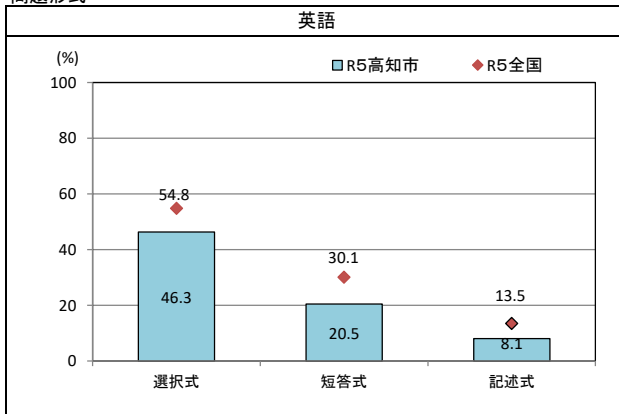
学習指導要領の領域



評価の観点



問題形式

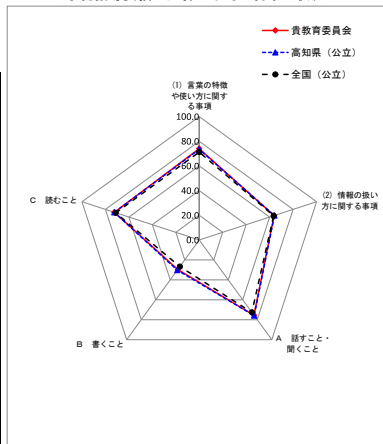


以下の集計値／グラフは、4月18日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)			
			貴教育委員会	高知県(公立)	全国(公立)	
全体			14	69.3	69.3	67.2
学習指導要領の内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	5	74.0	73.4	71.2
		(2) 情報の扱い方に関する事項	2	63.8	64.1	63.4
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	0			
	思考力、判断力、表現力等	A 話すこと・聞くこと	3	75.5	75.8	72.6
		B 書くこと	1	29.6	30.3	26.7
		C 読むこと	3	72.4	72.4	71.2
評価の観点	知識・技能	7	71.1	70.7	68.9	
	思考・判断・表現	7	67.6	67.8	65.5	
	主体的に学習に取り組む態度	0				
問題形式	選択式	9	74.1	74.4	73.6	
	短答式	2	68.8	66.2	62.7	
	記述式	3	55.4	56.0	51.1	

＜学習指導要領の内容の平均正答率の状況＞



問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の内容			評価の観点	問題形式	正答率(%)			無解答率(%)			全国と高知市との差(正答率)				
			知識及び技能					思考力、判断力、表現力等	選択式	短答式	記述式	貴教育委員会	高知県(公立)		全国(公立)	貴教育委員会	高知県(公立)	全国(公立)
			(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	(2) 情報の扱い方に関する事項	(3) 我が国の言語文化に関する事項													
1一	米作りのときに記録していた【カード②】と【カード③】の下線部の関係として適切なものを選択する	原因と結果など情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる	5-6 ア			○				66.1	67.2	64.7	0.8	0.6	1.8	1.4		
1二	【川村さんの文章】の空欄に学校の米作りの問題点と解決方法を書く	図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる			5-6 エ	○		○	29.6	30.3	26.7	5.0	5.4	7.1	2.9			
1三 (1)ア	【川村さんの文章】の下線部アを、漢字を使って書き直す(いがい)	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる	5-6 エ			○		○	62.0	58.1	52.8	1.7	2.1	4.8	9.2			
1三 (1)ウ	【川村さんの文章】の下線部ウを、漢字を使って書き直す(まかん)		5-6 エ			○		○	75.7	74.3	72.6	3.6	3.8	6.7	3.1			
1三 (2)イ	【川村さんの文章】の下線部イを、送り仮名に気を付けて書き直したものと適切なものを選択する(くらべて)	送り仮名に注意して、漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる	5-6 ツ			○		○	92.8	94.0	93.1	0.2	0.2	1.0	-0.3			
1四	【川村さんの文章】の特徴の説明として適切なものを選択する	文章の種類とその特徴について理解しているかどうかをみる	5-6 カ			○		○	80.1	81.0	79.8	1.0	0.8	2.0	0.3			
2一	【資料1】と【資料2】に書かれている内容として適切なものを選択する	目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することができるかどうかをみる				3-4 ツ	○	○	89.2	89.4	90.0	0.5	0.3	1.2	-0.8			
2二	【相田さんのメモ】の空欄に当てはまる内容として適切なものを選択する	目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることができるかどうかをみる			5-6 ツ	○		○	67.7	67.2	67.4	0.5	0.3	1.4	0.3			
2三	相田さんが【資料3】の情報をどのように整理しているかについて説明したものと適切なものを選択する	情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるかどうかをみる	5-6 イ			○		○	61.6	61.0	62.0	0.6	0.4	1.6	-0.4			
2四	資料を読み、運動と食事の両方について分かったことをもとに、自分ができそうなことをまとめて書く	文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる			5-6 オ	○		○	60.3	60.5	56.2	5.9	5.6	8.5	4.1			
3一 (1)	【インタビューの様子】の傍線部ア(～ということだと思いますが、合っていますか。)のように質問をした理由として適切なものを選択する	必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えることができるかどうかをみる			3-4 エ	○		○	75.1	75.2	73.6	1.7	1.2	3.7	1.5			
3一 (2)	【インタビューの様子】の傍線部イ(～というのは、どのような姿ですか。)のように質問をした理由として適切なものを選択する				3-4 エ	○		○	75.1	75.1	74.0	2.0	1.4	4.1	1.1			
3二	寺田さんと山本さんが、どのような思いでボランティアを続けているのかについて、分かったことをまとめて書く	目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる			5-6 エ	○		○	76.3	77.1	70.2	8.7	8.4	14.3	6.1			
3三	敬語の使い方をまとめた【谷さんのノートの一部】の空欄に入る内容として適切なものを選択する	日常よく使われる敬語を理解しているかどうかをみる	5-6 キ			○		○	59.3	59.4	57.6	4.7	3.9	9.5	1.7			

□ 特に成果があった問題
□ 特に課題があった問題

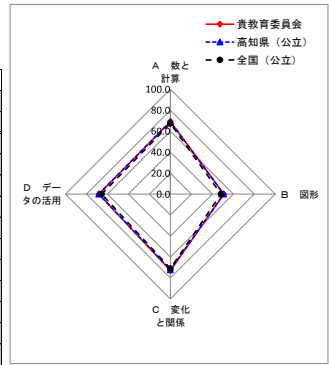
以下の集計値／グラフは、4月18日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)		
			貴教育委員会	高知県(公立)	全国(公立)
全体		16	64.9	64.7	62.5
学習指導要領の領域	A 数と計算	6	69.2	69.2	67.3
	B 図形	4	51.0	50.8	48.2
	C 測定	0			
	C 変化と関係	4	72.9	72.2	70.9
	D データの活用	3	68.1	68.3	65.5
評価の観点	知識・技能	9	69.4	69.1	67.2
	思考・判断・表現	7	59.1	59.2	56.5
	主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式	選択式	5	59.5	59.3	57.7
	短答式	7	76.8	76.4	74.7
	記述式	4	50.8	51.1	47.3

※「学習指導要領の領域」と「評価の観点」については、一つの問題が複数の区分に該当する場合があります。それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合があります。

<学習指導要領の領域の平均正答率の状況>



問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点	問題形式	正答率(%)			無解答率(%)			全国と高知市との差(正答率)	
			A 数と計算	B 図形	C 測定	C 変化と関係			D データの活用	貴教育委員会	高知県(公立)	全国(公立)	貴教育委員会	高知県(公立)		全国(公立)
1(1)	5脚の椅子を重ねたときの高さを求める	伴って変わる二つの数量について、表から変化の特徴を読み取り、表の中の知りたい数を求めることができるかどうかをみる				4(1) ア(7)	○		○	95.3	94.2	93.5	0.4	0.4	0.8	1.8
1(2)	椅子の数が2倍になっても、高さは2倍になっていないことについて、表の数を使ってみる	伴って変わる二つの数量の関係が、比例の関係ではないことを説明するために、表の中の適切な数の組を用いることができるかどうかをみる				5(1) イ(7)	○		○	89.3	88.8	88.5	0.5	0.5	1.0	0.8
1(3)	椅子4脚の重さが7kgであることを基に、4脚の重さの求め方と答えを書く	伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、知りたい数量の大きさの求め方と答えを式や言葉を用いて記述できるかどうかをみる				5(1) イ(7) イ(7)		○	○	61.8	61.5	55.5	3.1	2.9	3.4	6.3
1(4)	全部の椅子の数を求めるために、50×40を計算する	一の位が0の二つの2位数について、乗法の計算をすることができるかどうかをみる	3(3) ア(7)				○		○	83.2	84.1	80.8	0.9	0.7	1.2	2.4
2(1)	テープを2本の直線で切ってきた四角形の名前と、その四角形の特徴を選ぶ	台形の意味や性質について理解しているかどうかをみる	4(1) ア(4)				○		○	63.5	63.6	59.8	0.2	0.2	0.7	3.7
2(2)	テープを折ったり切ったりしてきた四角形の名前を書く	正方形の意味や性質について理解しているかどうかをみる	2(1) ア(4) 4(3) ア(7)				○		○	87.8	88.3	87.2	1.7	1.6	2.9	0.6
2(3)	切った開いた三角形を正三角形にするために、テープを切るときAの角の大きさを書く	正三角形の意味や性質について理解しているかどうかをみる	3(1) ア(7) 5(1) ア(4)				○		○	28.7	27.4	24.9	2.0	2.1	3.7	3.8
2(4)	テープを直線で切ってきた二つの三角形の面積の大小について分けることを選び、選んだわけを書く	高さや等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる	5(3) イ(9)					○	○	24.1	23.7	20.8	2.3	2.3	4.0	3.3
3(1)	2種類の辞典を全部並べた長さを求める二つの式について、それぞれどのようなことを表しているのかを選ぶ	()を用いた式や、加法と乗法の混合した式を場面と関連付けて読み取ることができるかどうかをみる	4(8) イ(7)				○		○	71.7	71.0	70.3	0.8	0.7	1.4	1.4
3(2)	3種類のファイル23人分を全部並べた長さの求め方と答えを記述し、全部のファイルを棚に入れることができるかどうかを判断する	示された日常生活の場面を解釈し、小数の加法や乗法を用いて、求め方と答えを式や言葉を用いて記述し、その結果から条件に当てはまるかどうかを判断できるかどうかをみる	3(5) ア(4) 4(4) ア(7) 4(7)					○	○	57.6	57.5	56.7	2.6	2.7	4.0	0.9
3(3)	(151+49)×3と151×3+49×3を計算したり、分配法則を用いたりして答えを求める	加法と乗法の混合した整数の計算をしたり、分配法則を用いたりすることができるかどうかをみる	4(8) ア(7) 4(7) ア(7)				○		○	76.4	76.3	72.4	1.3	1.6	2.5	4.0
3(4)	66÷3の筆算の仕方を説明した図を基に、筆算の商の十の位に当たる式を選ぶ	(2位数)÷(1位数)の筆算について、図を基に、各段階の商の意味を考慮することができるかどうかをみる	3(4) イ(7) 4(3) ア(7)				○		○	49.5	50.1	47.6	2.3	2.2	3.9	1.9
4(1)	示された基準量と比較量から、割合が30%になるものを選ぶ	百分率で表された割合について理解しているかどうかをみる	5(3) ア(4)				○		○	45.2	44.3	46.0	1.4	1.3	2.4	-0.8
4(2)	運動カードから、運動した時間の合計が30分以上である日数を求める	「以上」の意味を理解し、示された表から必要な数を読み取ることができるかどうかをみる	4(2) ア(4)			3(1) ア(7)	○		○	76.9	76.1	75.7	3.1	2.8	4.3	1.2
4(3)	二つのグラフから、30分以上の運動をした日数が「1日」と答えた人数に着目して、分けることを書く	示された棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み取り、見いだした違いを言葉と数を用いて記述できるかどうかをみる	3(1) ア(4) イ(7)				○		○	59.8	61.6	56.2	9.5	9.3	13.8	3.6
4(4)	二次元の表から、読み取ったことの根拠となる数の組み合わせを選ぶ	二次元の表から、条件に合う数を読み取ることができるかどうかをみる	4(1) ア(7)				○		○	67.6	67.4	64.6	3.2	3.0	4.9	3.0

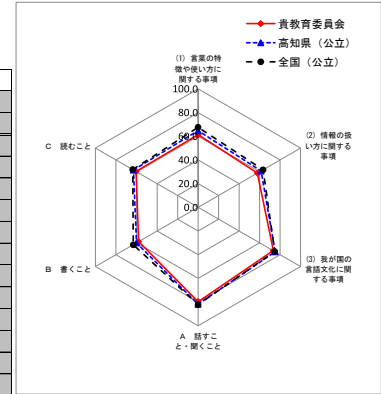
以下の集計値／グラフは、4月18日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)			
			貴教育委員会	高知県(公立)	全国(公立)	
全体			15	65.9	68.5	69.8
学習指導 要領の 内容	知識及び 技能	(1) 言葉の特徴や使いに関する事項	2	61.4	64.7	67.5
		(2) 情報の扱い方に関する事項	2	57.9	61.4	63.4
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	3	73.2	75.1	74.7
	思考力、 判断力、 表現力等	A 話すこと・聞くこと	3	79.6	81.8	82.2
		B 書くこと	2	58.1	60.1	63.2
		C 読むこと	4	60.5	63.0	63.7
評価の観点	知識・技能	7	65.4	68.2	69.4	
	思考・判断・表現	9	66.3	68.6	69.7	
	主体的に学習に取り組む態度	0				
問題形式	選択式	7	69.5	71.4	73.1	
	短答式	4	60.5	64.0	65.6	
	記述式	4	65.0	67.9	68.0	

※「学習指導要領の内容」と「評価の観点」については、一つの問題が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合がある。

<学習指導要領の内容の平均正答率の状況>

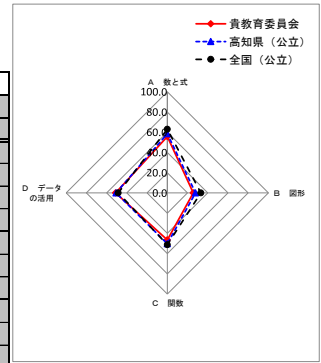


問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の内容						評価の観点	問題形式	正答率(%)			無解答率(%)			全国と高知市との差(正答率)			
			知識及び技能			思考力、判断力、表現力等					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	貴教育委員会	高知県(公立)	全国(公立)		貴教育委員会	高知県(公立)	全国(公立)
			(1) 言葉の特徴や使いに関する事項	(2) 情報の扱い方に関する事項	(3) 我が国の言語文化に関する事項	A 話すこと・聞くこと	B 書くこと	C 読むこと												
1一	インタビューの前に準備したメモについて説明したものとして適切なものを選択する	目的や場面に応じて質問する内容を検討することができるかどうかをみる				1 A						83.4	84.4	87.5	0.1	0.0	0.1	-4.1		
1二	インターネットの記事を読んで気付いた点として適切なものを選択する	意見と根拠など情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる	1 A									61.8	64.3	65.1	0.1	0.0	0.2	-3.3		
1三	相手の話を受けて発した質問について、述べ方の工夫とその意図を説明したものとして適切なものを選択する	話の内容を捉え、知りたい情報に合わせて効果的に質問することができるかどうかをみる				1 E						74.3	76.7	76.6	0.1	0.1	0.2	-2.3		
1四	インタビューのまとめとしてどのようなことを述べるのか、自分の考えを書く	聞き取ったことを基に、目的に沿って自分の考えをまとめることができるかどうかをみる				1 E						81.2	84.4	82.5	10.2	8.3	10.8	-1.3		
2一	「落胆する」の意味として適切なものを選択する	事象や行為、心情を表す語句について理解しているかどうかをみる	1 ウ									87.8	89.1	91.1	0.1	0.1	0.2	-3.3		
2二	二つの文章に共通する表現の効果を説明したものとして適切なものを選択する	観点を明確にして文章を比較し、表現の効果について考えることができるかどうかをみる				2 E						59.8	62.6	63.0	0.2	0.2	0.4	-3.2		
2三	それぞれの文章で述べられている「読書の楽しみ」として適切なものを選択する	文章の中心的な部分と付加的な部分について叙述を基に捉え、要旨を把握することができるかどうかをみる				1 A						68.4	70.2	74.2	0.1	0.2	0.3	-5.8		
2四	自分がこれからのように本を読みたいかについて、読んだ文章を参考にして、知識や経験に触れながら書く	文章を読んで理解したことなどを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができるかどうかをみる			2 E							66.6	67.8	67.5	4.3	3.6	3.9	-0.9		
3一	レポートの下書きの一部について、文の一部を直す意図として適切なものを選択する	読み手の立場に立って、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることができるかどうかをみる				1 E						51.1	52.4	54.3	0.5	0.4	0.6	-3.2		
3二	漢字を書く(おし量って)	文脈に即して漢字を正しく書くことができるかどうかをみる	2 ウ									35.0	40.2	43.9	10.7	8.7	10.7	-8.9		
3三	「『判じ絵』とは何か」と見出しを付けた部分について、内容のまとまりで文章が二つに分かれる箇所を選択し、後半のまとまりに付ける見出しを書く	具体と抽象など情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる			2 A							54.0	58.4	61.8	2.0	1.6	2.1	-7.8		
3四	「『判じ絵』の解説の面白さ」と見出しを付けた部分に具体例として示す「判じ絵」を選択し、その解説の仕方を書く	自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことができるかどうかをみる				1 ウ						65.2	67.9	72.1	11.2	8.9	10.2	-6.9		
4一	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す(いひける)	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことができるかどうかをみる			1 A							82.2	83.8	82.5	3.3	3.1	3.6	-0.3		
4二	原文の中の語句に対応する言葉現代語で書かれた文章から抜き出す(いと)	古典の原文と現代語の文章とを対応させて内容を捉えることができるかどうかをみる			2 イ							70.7	73.6	74.1	5.8	4.7	4.8	-3.4		
4三	現代語で書かれた「竹取物語」のどこがどのように工夫されているかについて、古典と比較して書く	文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができるかどうかをみる				1 E						47.1	51.3	50.0	21.3	18.2	20.7	-2.9		

以下の集計値／グラフは、4月18日に実施した調査の結果を集計した値である。

＜学習指導要領の領域の平均正答率の状況＞



集計結果

分類	区分	対象問題数(問)	平均正答率(%)		
			貴教育委員会	高知県(公立)	全国(公立)
全体			46.3	48.6	51.0
学習指導要領の領域	A 数と式	5	55.7	58.5	63.0
	B 図形	3	25.7	27.9	33.2
	C 関数	4	46.5	50.3	51.2
	D データの活用	3	51.1	50.7	48.5
評価の観点	知識・技能	10	50.7	52.2	55.7
	思考・判断・表現	5	37.6	41.5	41.6
	主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式	選択式	4	37.6	39.8	45.3
	短答式	6	59.4	60.4	62.6
	記述式	5	37.6	41.5	41.6

問題別集計結果

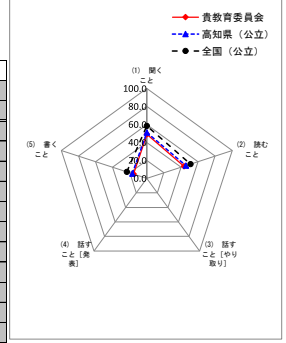
問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点	問題形式			正答率(%)			無解答率(%)			全国と高知市との差(正答率)	
			A 数と式	B 図形	C 関数	D データの活用		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	貴教育委員会	高知県(公立)	全国(公立)		貴教育委員会
1	-5, 0, 3, 4, 7, 9の中から自然数を全て選ぶ	自然数の意味を理解しているかどうかをみる	1(3) ア(2)				○		○			39.5	39.6	46.1	0.1	0.1	0.1	-6.6
2	12(x/4+y/6)を計算する	数と整式の乗法の計算ができるかどうかをみる	2(3) ア(2)				○		○			72.4	73.7	80.5	4.5	3.7	4.0	-8.1
3	空間における平面が1つに決まる場合について、正しい記述を選ぶ	空間における平面が同一直線上にない3点で決定されることを理解しているかどうかをみる		1(2) ア(2)			○		○			22.5	24.8	30.4	0.3	0.5	0.8	-7.9
4	yがxに反比例し、比例定数が3のとき、xの値とそれに対応するyの値について、正しい記述を選ぶ	反比例の意味を理解しているかどうかをみる			1(3) ア(4)		○		○			35.6	38.3	42.8	0.2	0.2	0.5	-7.2
5	女子50m自由形の記録の、最小の階級から29.00秒以上30.00秒未満の階級までの累積度数を求める	累積度数の意味を理解しているかどうかをみる				1(3) ア(2)	○		○			45.4	40.4	46.1	8.4	7.2	11.0	-0.7
6(1)	はじめの数が11のとき、はじめの数にかけた数が2、たす数が3のときの計算結果を求める	問題場面における考察の対象を明確に捉えることができるかどうかをみる	1(3) ア(2)				○		○			84.5	86.2	88.9	3.4	2.7	2.4	-4.4
6(2)	はじめの数にかけた数が2、たす数が6ならば、計算結果はいつでも3の倍数になることの説明を完成させる	目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができるかどうかをみる					○		○			49.4	55.5	58.8	11.7	9.2	10.6	-9.4
6(3)	はじめの数にかけた数がいくつ、たす数がいくつであれば、計算結果はいつでも4の倍数になるかを説明する	結論が成り立つための前提を、問題解決の過程や結果を振り返って考え、成り立つ事柄を見だし、説明することができるかどうかをみる					○		○			32.6	37.5	40.9	21.6	18.7	24.7	-8.3
7(1)	1961年～1975年の四分位範囲を求める	四分位範囲の意味を理解しているかどうかをみる				2(2) ア(2)	○		○			72.0	72.9	65.7	3.9	3.5	5.6	6.3
7(2)	「2006年～2020年の黄葉日は、1991年～2005年の黄葉日より遅くなっている傾向にある」と主張することができる理由を、箱ひげ図の箱に着目して説明する	複数の集団のデータの分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる				2(2) ア(2)	○		○			35.8	38.8	33.6	16.8	15.4	22.8	2.2
8(1)	晴天大学が駅前を通過した時間と新緑大学が駅前を通過した時間の差について、グラフのどの2点のx座標の差として表れるかを書く	与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができるかどうかをみる				2(1) ア(2) イ(2)	○		○			52.3	56.9	57.5	7.1	6.1	8.6	-5.2
8(2)	二人の選手のグラフが直線で表されていること的前提となっている事柄を選ぶ	事象を理想化・単純化することで表された直線のグラフを、事象に即して解釈することができるかどうかをみる				2(1) ア(4)	○		○			52.9	56.6	61.7	0.8	0.8	1.1	-8.8
8(3)	グラフや式を用いて、新緑大学の選手が晴天大学の選手に追いつくのが、6区のスタート地点からおおよそ何mの地点になるかを求める方法を説明する	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる				2(1) ア(4)	○		○			45.4	49.4	42.8	8.4	8.0	13.2	2.6
9(1)	2つの直線BCと直線AEが平行であることを、三角形の合同を基にして、同位角又は錯角が等しいことを示すことで証明する	ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明することができるかどうかをみる				2(1) ア(2)	○		○			24.7	26.4	32.1	23.9	22.1	24.7	-7.4
9(2)	二等辺三角形でない2つの合同な三角形のときに平行線がかけないことについて、二等辺三角形のときに証明の中から成り立たなくなる式を書く	条件を変えた場合に事柄が成り立たなくなった理由を、証明を振り返って読み取ることができるかどうかをみる				2(2) ア(4) イ(2)	○		○			29.9	32.4	37.0	15.2	13.4	14.2	-7.1

以下の集計値／グラフは、4月18日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)		
			貴教育委員会	高知県(公立)	全国(公立)
全体		17	37.2	39.2	45.6
学習指導要領の領域	(1) 聞くこと	6	49.0	51.0	58.4
	(2) 読むこと	6	43.6	45.8	51.2
	(3) 話すこと [やり取り]	0			
	(4) 話すこと [発表]	0			
	(5) 書くこと	5	15.5	17.0	23.4
評価の観点	知識・技能	9	41.6	43.6	51.5
	思考・判断・表現	8	32.4	34.2	38.8
	主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式	選択式	12	46.3	48.4	54.8
	短答式	3	20.5	21.9	30.1
	記述式	2	8.1	9.6	13.5

<学習指導要領の領域の平均正答率の状況>



問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域					評価の観点			問題形式			正答率(%)			無解答率(%)			全国と高知市との差(正答率)
			(1) 聞くこと	(2) 読むこと	(3) 話すこと [やり取り]	(4) 話すこと [発表]	(5) 書くこと	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	貴教育委員会	高知県(公立)	全国(公立)	貴教育委員会	高知県(公立)	全国(公立)	
1 (1)	ある状況を描写する英語を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する	情報を正確に聞き取ることができるかどうかをみる	○					○			○			69.5	71.1	79.0	0.0	0.1	0.1	-9.5
1 (2)	道案内の場面における会話を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する	情報を正確に聞き取ることができるかどうかをみる	○					○			○			53.3	55.1	64.4	0.1	0.1	0.2	-11.1
1 (3)	買物の場面における会話を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する	情報を正確に聞き取ることができるかどうかをみる	○					○			○			36.5	38.9	49.8	0.0	0.1	0.2	-13.3
2	忘れ物に関する情報を得るために自動音声案内を聞き、最も適切な番号を選択する	日常的な話題について、目的に応じて英語を聞き、必要な情報を聞き取ることができるかどうかをみる	ア						○		○			52.3	55.1	61.1	0.1	0.1	0.2	-8.8
3	バーベキューパーティーについての説明を聞き、質問の答えとして最も適切なものを選択する	日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞き取ることができるかどうかをみる	ア						○		○			33.3	36.3	41.2	0.1	0.1	0.2	-7.9
4	水問題について話を聞き、話し手の最も伝えたい内容を選択する	社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることができるかどうかをみる	ウ						○		○			49.0	49.4	54.8	0.1	0.2	0.4	-5.8
5 (1)	ある状況を描写する英文を読み、その内容を最も適切に表しているグラフを選択する	情報を正確に読み取ることができるかどうかをみる	○						○		○			47.2	49.7	56.0	0.1	0.2	0.3	-8.8
5 (2)	事実や考えが書かれた英文を読み、考えを表している英文を選択する	「事実・情報を伝える」と「考えや意図を伝える」という言語の働きを理解し、事実と考えを区別して読むことができるかどうかをみる	○						○		○			56.2	57.5	64.5	0.2	0.2	0.3	-8.3
6	友達からのメールを読み、相手が示した条件に合うイベントとして最も適切なものを選択する	日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を読み取ることができるかどうかをみる	ア						○		○			29.0	31.2	35.9	0.4	0.4	0.3	-6.9
7 (1)	図書館について書かれた英文を読み、文中の空所に入る適切な語句を選択する	文と文との関係を正確に読み取ることができるかどうかをみる	○						○		○			49.9	54.6	59.8	0.2	0.2	0.3	-9.9
7 (2)	図書館について書かれた英文を読み、その概要として最も適切なものを選択する	日常的な話題について、短い文章の概要を捉えることができるかどうかをみる	イ						○		○			27.0	31.2	34.7	0.5	0.5	0.7	-7.7
8 (1)	ロボットについて書かれた英文を読み、書き手の最も伝えたい内容を選択する	社会的な話題について、短い文章の要点を捉えることができるかどうかをみる	ウ						○		○			52.0	50.9	56.1	0.7	0.6	0.8	-4.1
8 (2)	ロボットについて書かれた英文を読み、書き手の意見に対する自分の考えとその理由を書く	社会的な話題に関して読んだことについて、考えとその理由を書くことができるかどうかをみる					ウ		○		○			12.0	14.4	19.5	24.3	22.5	29.3	-7.5
9 (1) ①	与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、会話が成り立つように英文を完成させる	未来表現 (be going to) の肯定文を正確に書くことができるかどうかをみる						ア	○		○			28.7	29.9	40.4	7.9	6.6	6.6	-11.7
9 (1) ②	与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、会話が成り立つように英文を完成させる	疑問詞を用いた一般動詞の2人称単数過去形の疑問文を正確に書くことができるかどうかをみる						ア	○		○			12.2	13.7	20.9	11.5	10.2	10.9	-8.7
9 (2)	メールの英文を依頼する表現に書き換える	「相手の行動を促す」という言語の働きを理解し、依頼する表現を正確に書くことができるかどうかをみる						ア	○		○			20.5	22.1	29.0	25.4	22.1	24.5	-8.5
10	学校生活(行事や部活動など)の中から紹介したいものを1つ取り上げ、それを説明するまとまりのある文章を書く	日常的な話題について、事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができるかどうかをみる					イ		○		○			4.2	4.8	7.4	19.0	17.1	21.4	-3.2

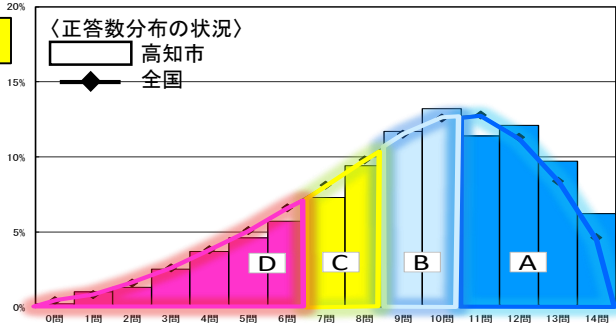
7 正答数分布の状況と四層分析の経年での比較（高知市と全国）【%】

※四層分析…文部科学省が四層に区分したものに高知市の状況を当てはめたもの。(A~D)

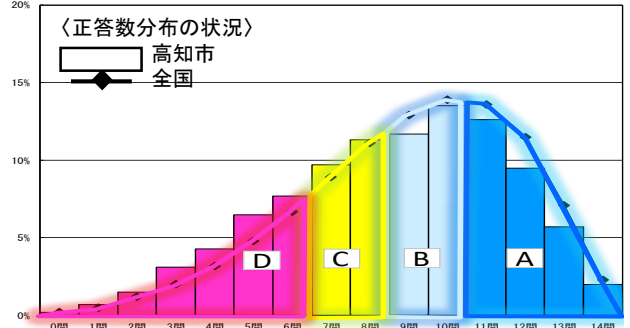
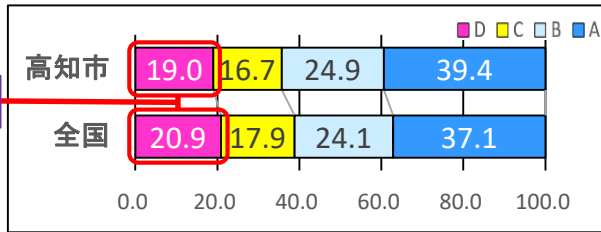
小学校国語

中学校国語

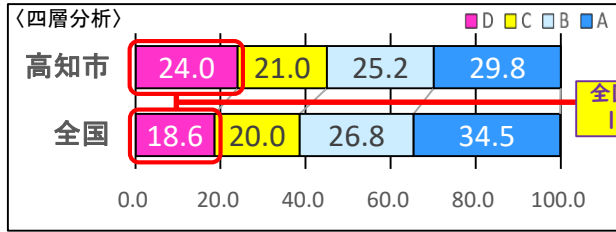
R3



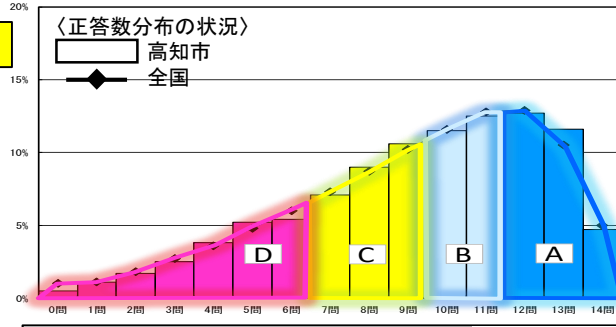
全国比 91



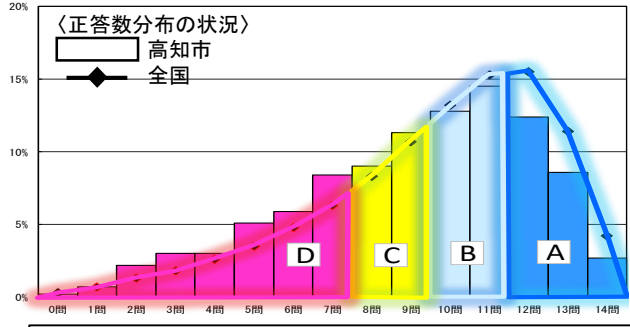
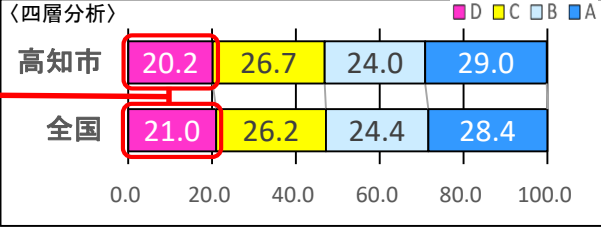
全国比 129



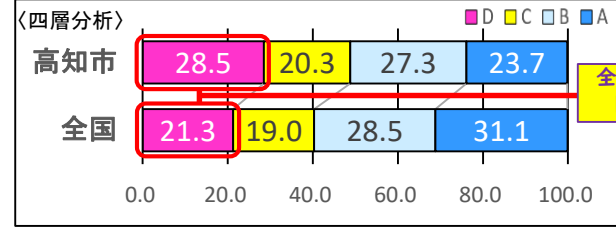
R4



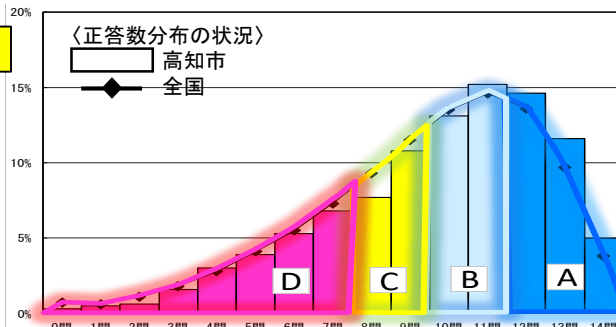
全国比 96



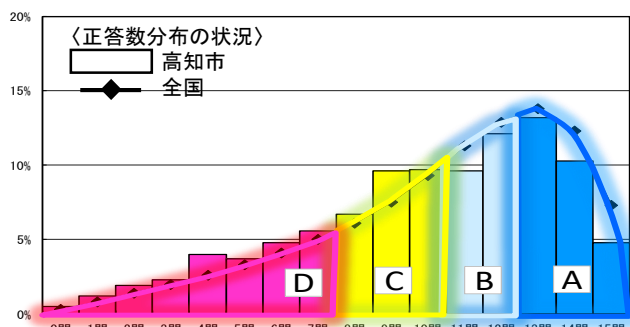
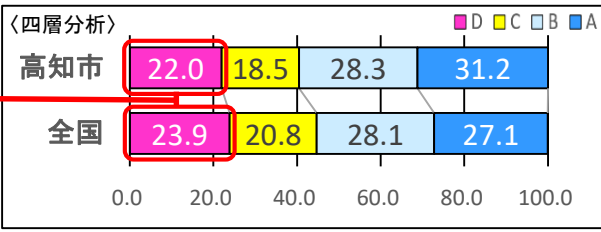
全国比 134



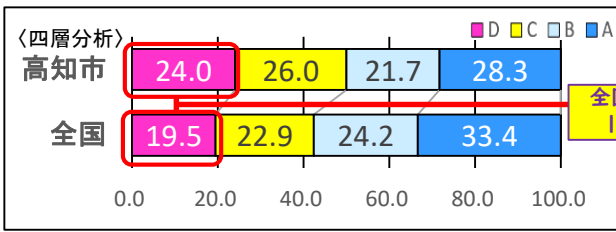
R5



全国比 92



全国比 123



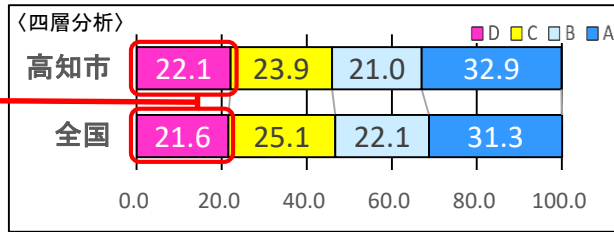
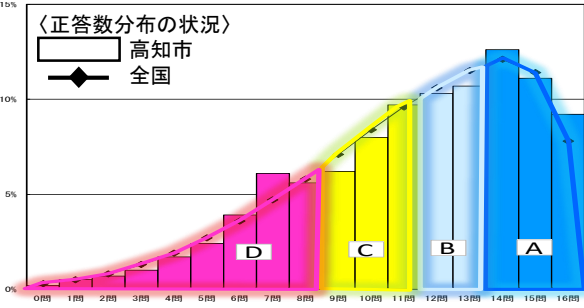
7 正答数分布の状況と四層分析の経年での比較（高知市と全国）【%】

※四層分析・・・文部科学省が四層に区分したものに高知市の状況を当てはめたもの。(A~D)

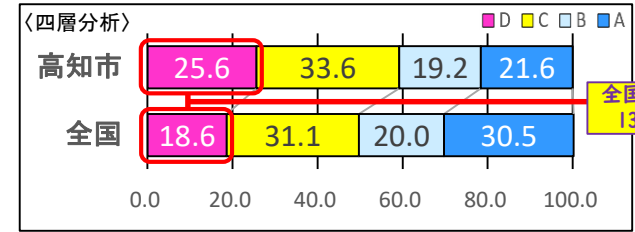
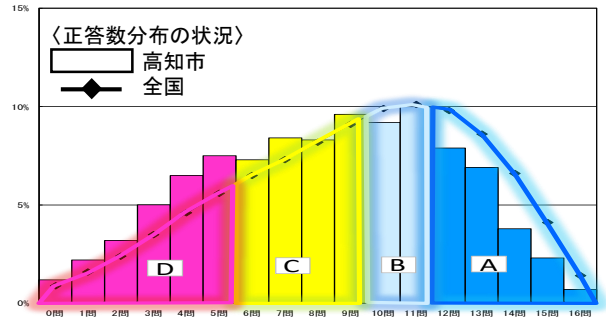
小学校算数

中学校数学

R3

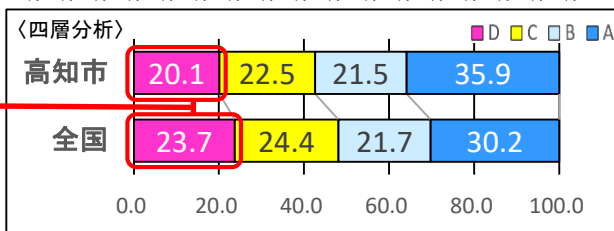
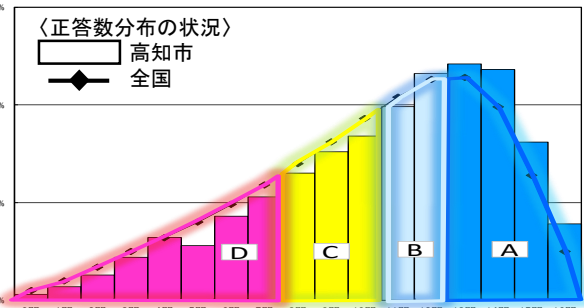


全国比 102

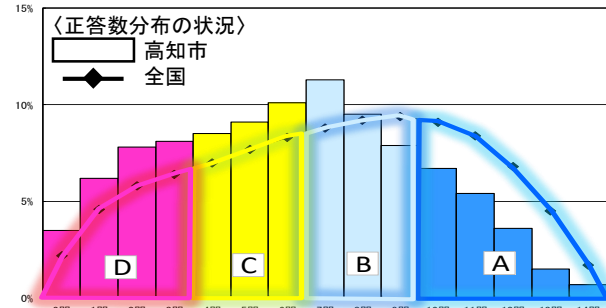


全国比 138

R4

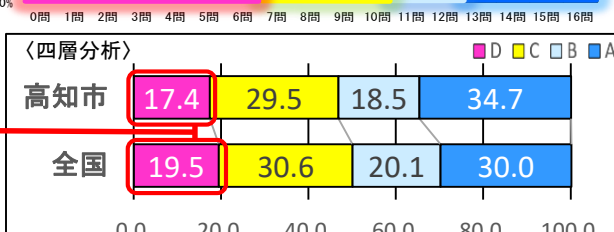
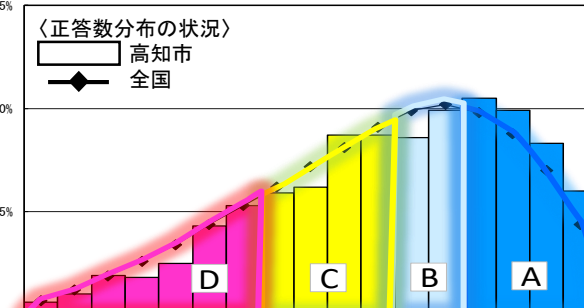


全国比 85

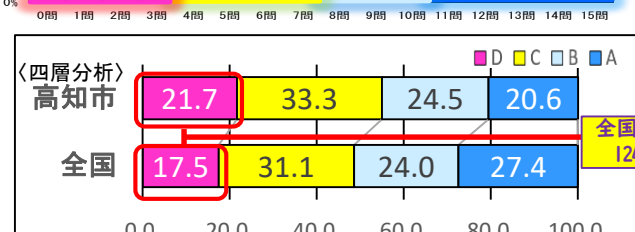
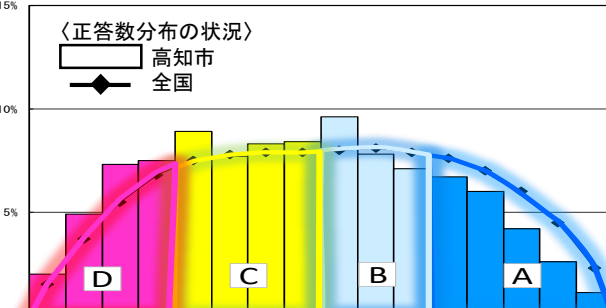


全国比 135

R5



全国比 89



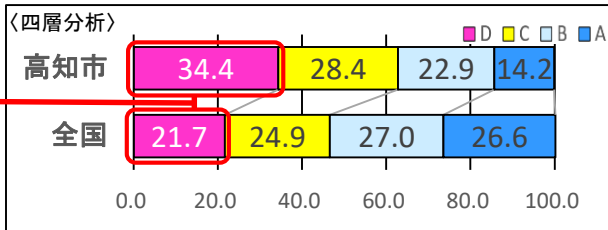
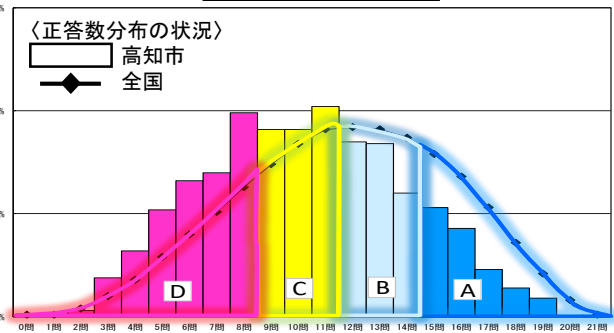
全国比 124

7 正答数分布の状況と四層分析の経年での比較（高知市と全国）【%】

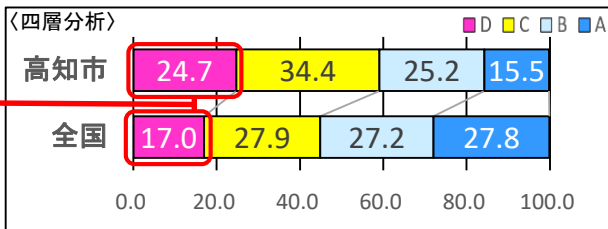
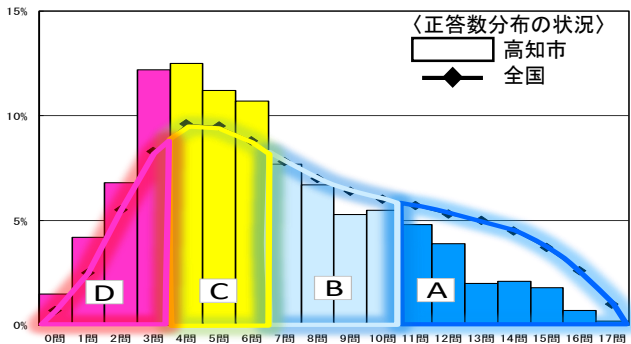
※四層分析…文部科学省が四層に区分したものに高知市の状況を当てはめたもの。(A~D)

中学校英語

H31

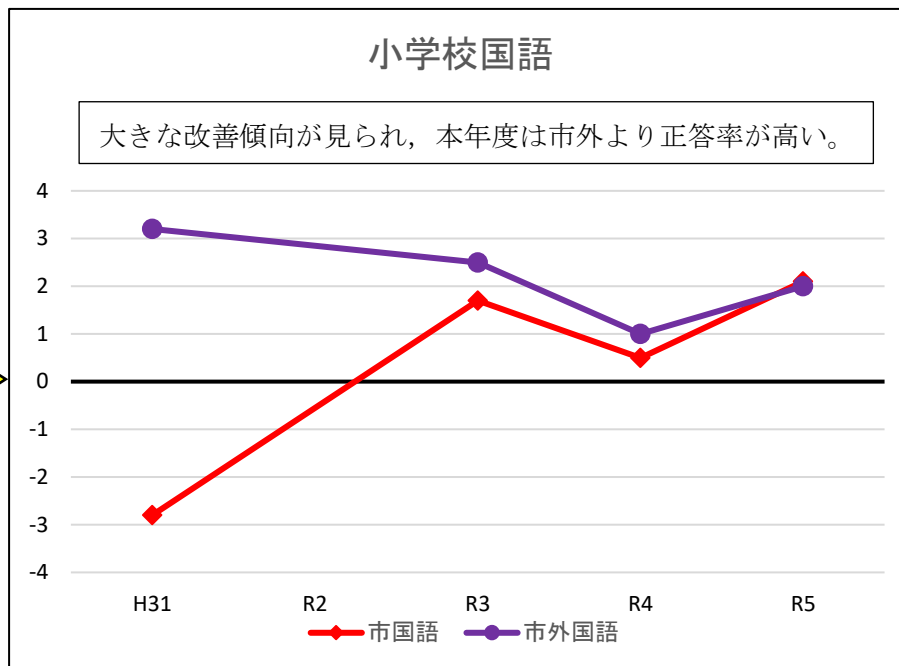


R5



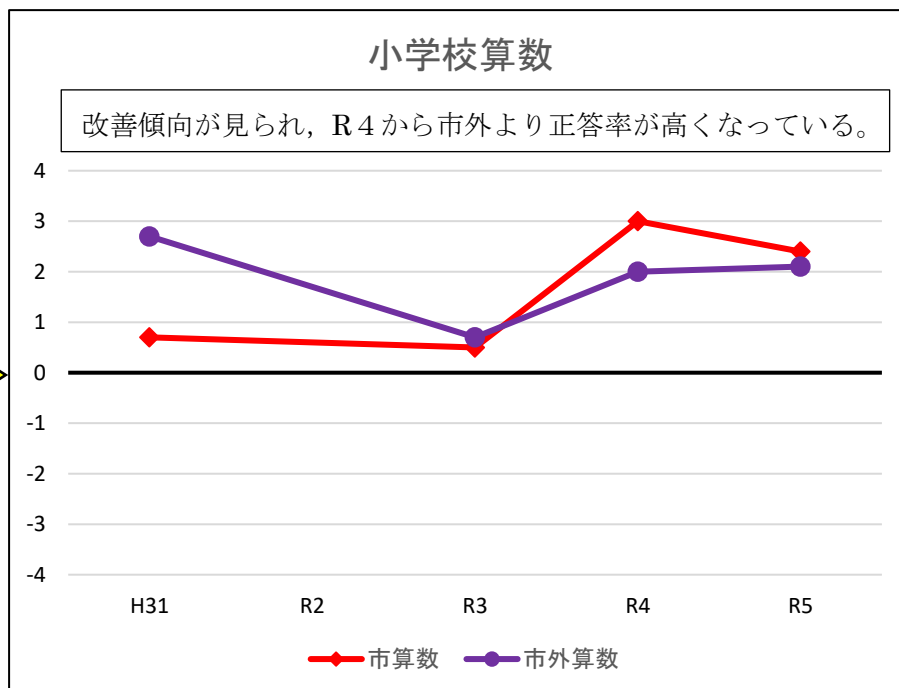
8 高知市と高知市外との正答率の差の推移

全国正答率



小学校	H31	R2	R3	R4	R5
市国語	-2.8		1.7	0.5	2.1
市外国語	3.2		2.5	1.0	2.0

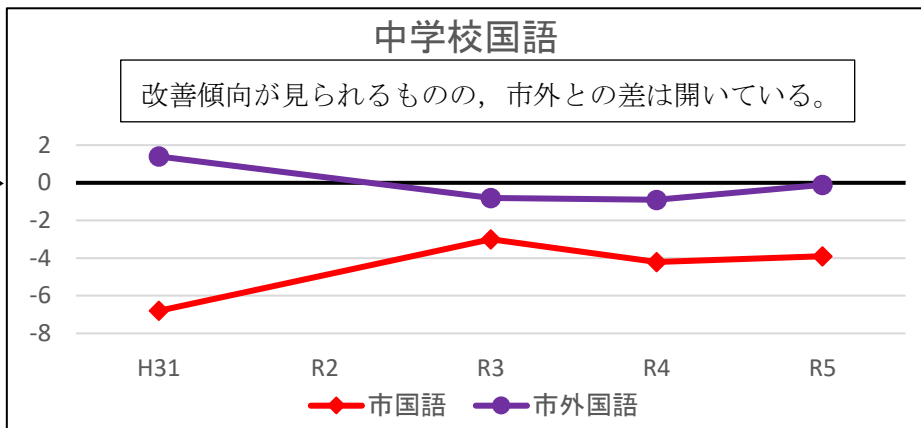
全国正答率



小学校	H31	R2	R3	R4	R5
市算数	0.7		0.5	3.0	2.4
市外算数	2.7		0.7	2.0	2.1

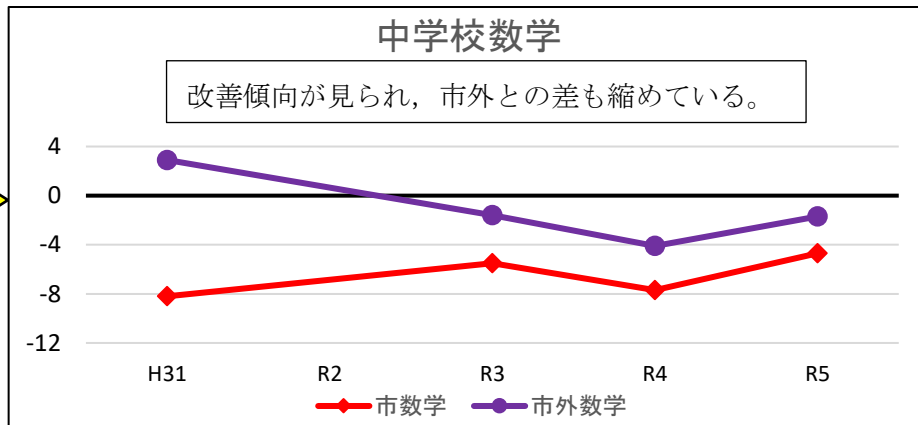
8 高知市と高知市外との正答率の差の推移

全国正答率



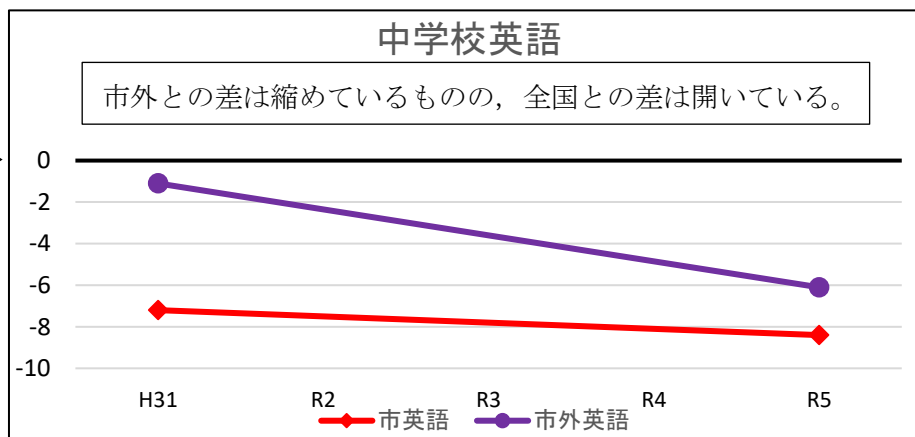
中学校	H31	R2	R3	R4	R5
市国語	-6.8		-3.0	-4.2	-3.9
市外国語	1.4		-0.8	-0.9	-0.1

全国正答率



中学校	H31	R2	R3	R4	R5
市数学	-8.2		-5.5	-7.7	-4.7
市外数学	2.9		-1.6	-4.1	-1.7

全国正答率



中学校	H31	R2	R3	R4	R5
市英語	-7.2				-8.4
市外英語	-1.1				-6.1

9 質問紙調査の高知市の結果【抜粋】

1 挑戦心, 達成感, 規範意識, 自己有用感等

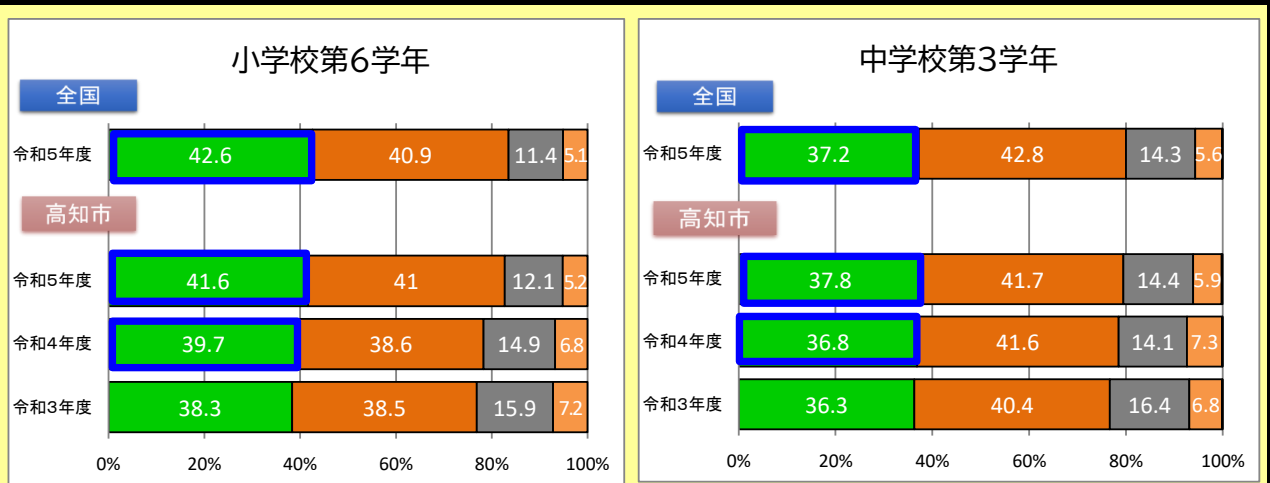
児童生徒質問紙

【4】 自分には、よいところがあると思いますか

- ・ 「当てはまる」強い肯定群の割合は、全国と比較すると、小学生では1.0ポイント下回っており、中学生では0.6ポイント上回っている。本市の令和4年度と比較すると、小学生では1.9ポイント、中学生では1.0ポイント増加している。

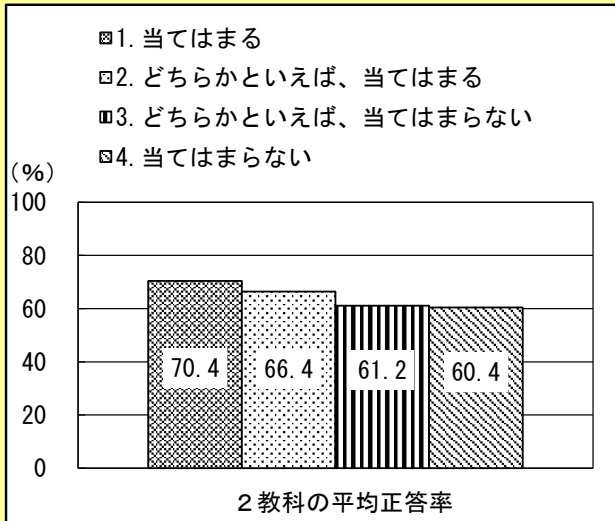
高知市(経年)

- 当てはまる
- どちらかといえば、当てはまる
- どちらかといえば、当てはまらない
- 当てはまらない

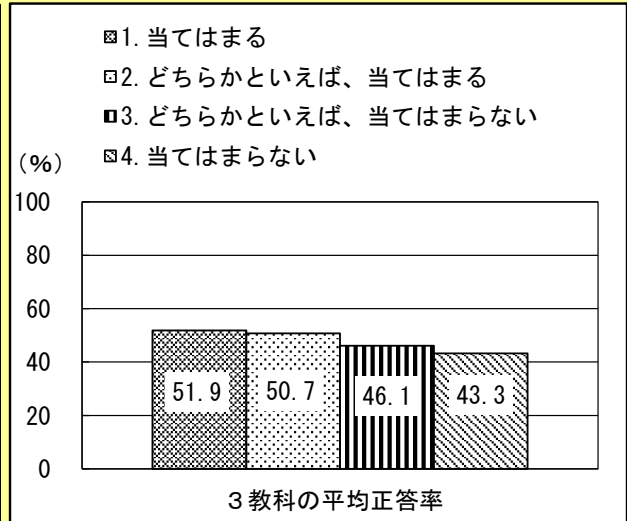


質問紙調査と平均正答率との関連

小学校第6学年



中学校第3学年



「自分にはよいところがある。」と肯定的に回答した児童生徒ほど、平均正答率が高い傾向になっています。

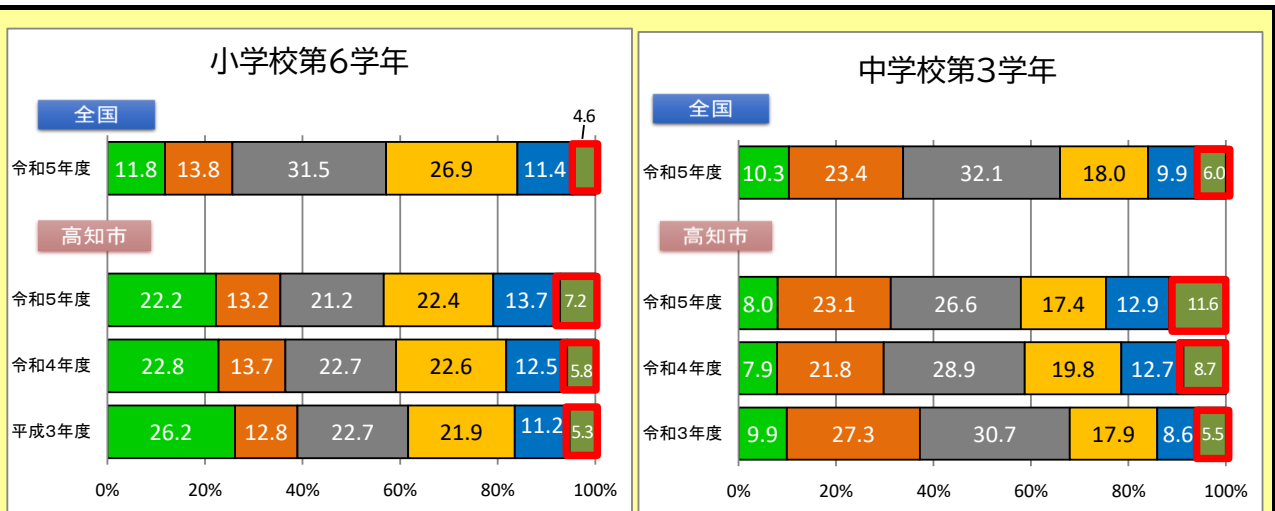
2 学習習慣, 学習環境等

児童生徒質問紙

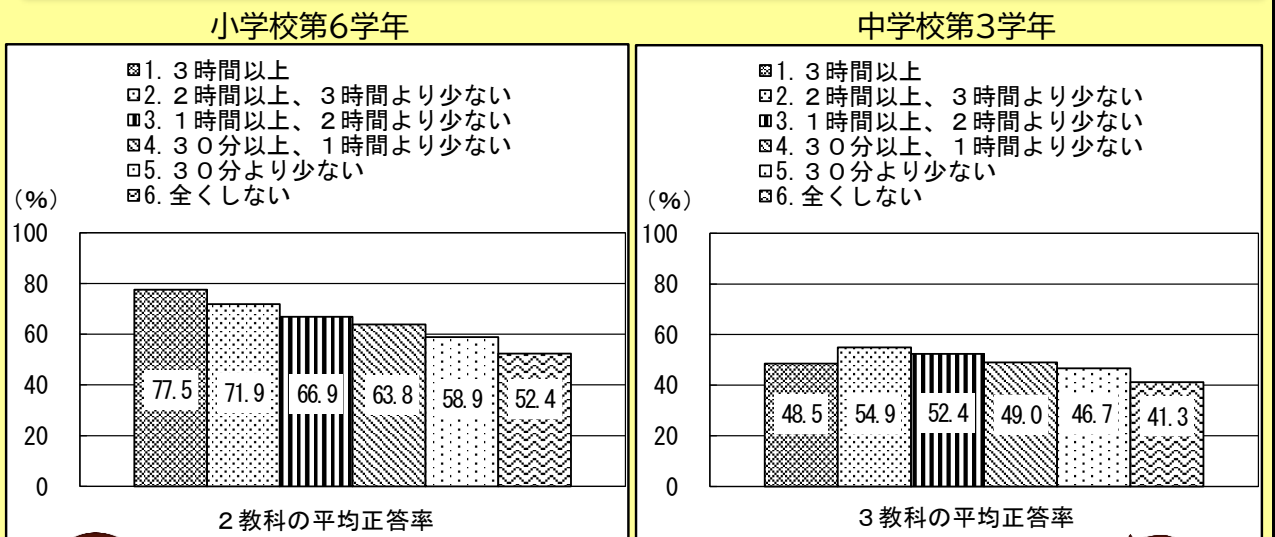
【17】 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）

- ・ 学習時間が30分より少ない児童生徒の割合は、全国と比較すると、小学生は2.3ポイント、中学生では3.0ポイント上回っている。本市の令和4年度と比較すると、小学生では1.2ポイント、中学生では0.2ポイント増加している。

高知市(経年)



質問紙調査と平均正答率との関連



勉強時間が「全くしない」と答えた児童生徒の平均正答率がぐんと低くなっています。



学校の授業時間以外でも学習することは、学力向上につながるね。

3 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況

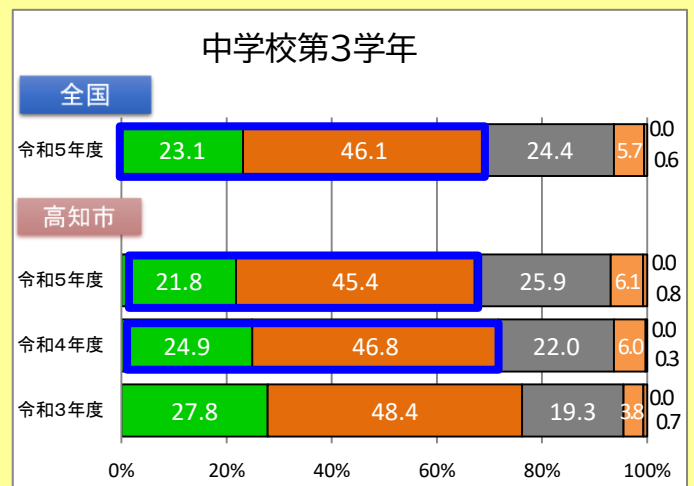
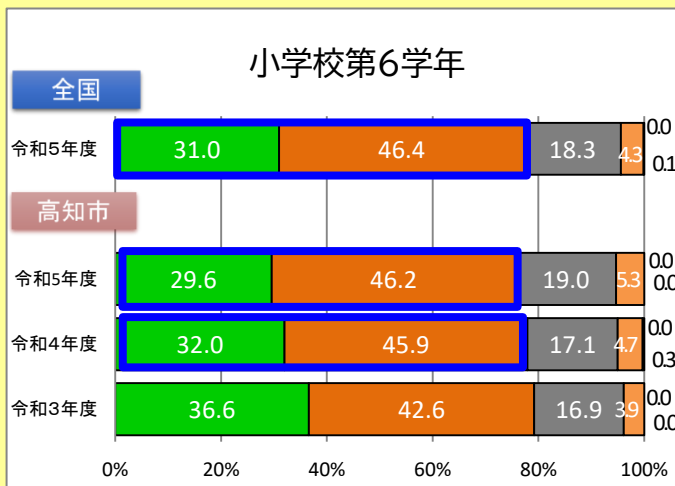
児童生徒質問紙

【小37・中41】 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか

- 「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」肯定群の割合は、全国と比較すると、小学生では1.6ポイント下回っており、中学生では2.0ポイント下回っている。本市の令和4年度と比較すると、小学生では2.1ポイント、中学生では4.5ポイント減少している。

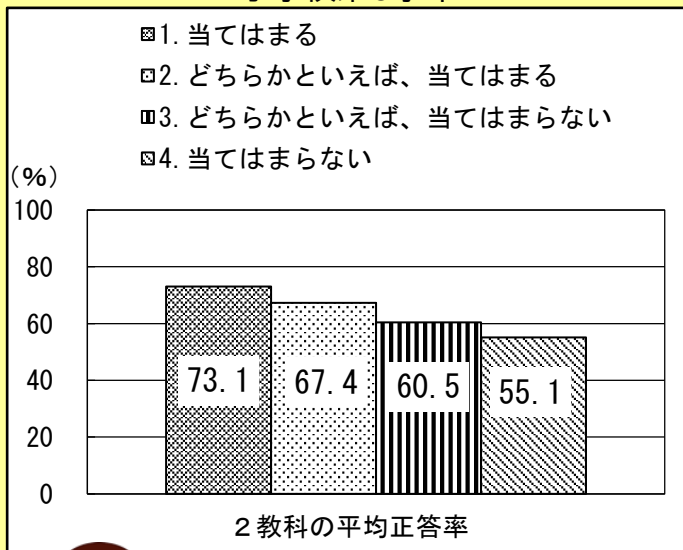
高知市(経年)

- 当てはまる
- どちらかといえば、当てはまる
- どちらかといえば、当てはまらない
- 当てはまらない
- その他
- 無回答

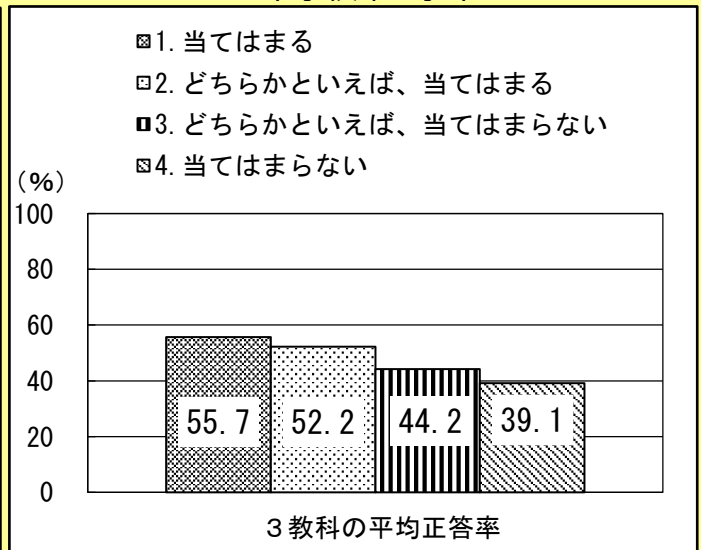


質問紙調査と平均正答率との関連

小学校第6学年



中学校第3学年



学習した内容を、しっかりと振り返って次の学習につなげている児童生徒ほど、平均正答率が高い傾向にあります。

4 ICTを活用した学習状況

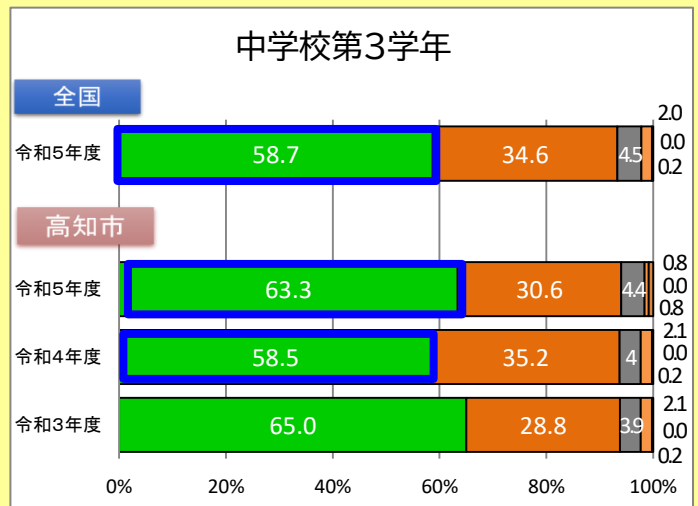
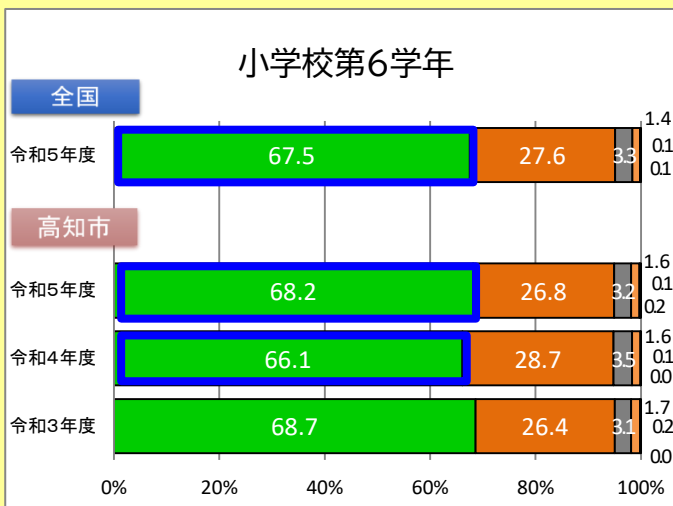
児童生徒質問紙

【小30, 中34】 学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか

- 「役に立つと思う」強い肯定群の割合は、全国と比較すると、小学生では0.7ポイント上回っており、中学生では4.6ポイント上回っている。本市の令和4年度と比較すると、小学生では2.1ポイント、中学生では4.8ポイント減少している。

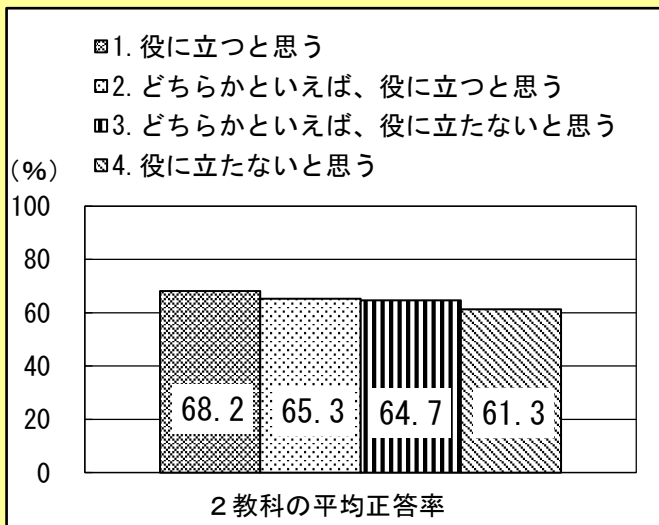
高知市(経年)

- 役に立つと思う
- どちらかといえば、役に立つと思う
- どちらかといえば、役に立たないと思う
- 役に立たないと思う
- その他
- 無回答

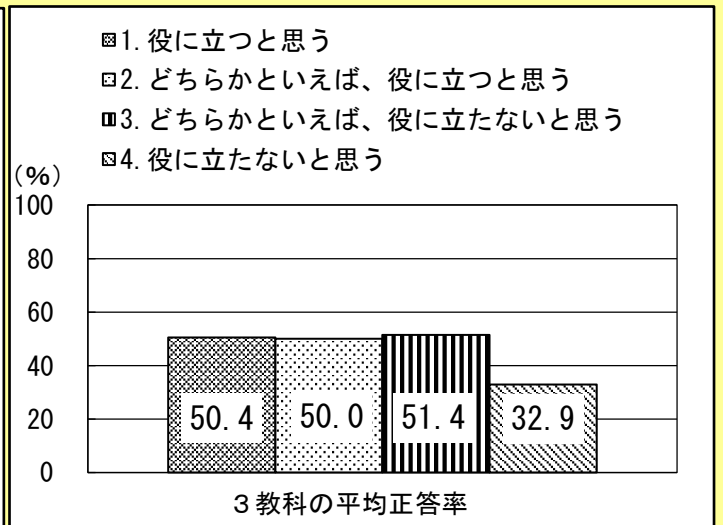


質問紙調査と平均正答率との関連

小学校第6学年



中学校第3学年



ICT機器を効果的に活用し、勉強の役に立つと実感できる活動を充実させることが大切です。

5 ICTを活用した学習状況①

学校質問紙

【59】 調査対象学年の児童同士がやり取りする場面では、一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度使用させていますか。

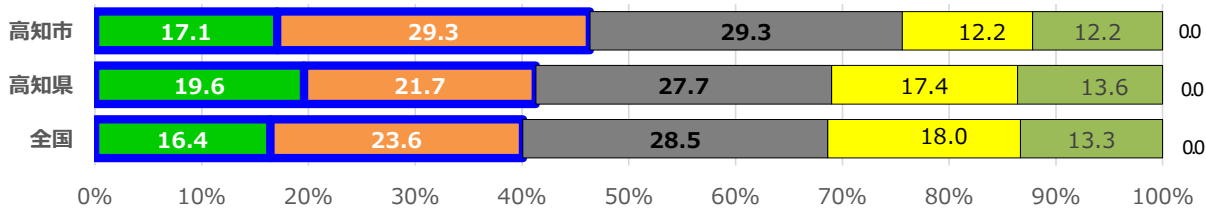
【63】 調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか

- 一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を週3回以上活用する割合は、小学生では全国より6.4ポイント上回っており、中学生では13.3ポイント上回っている。

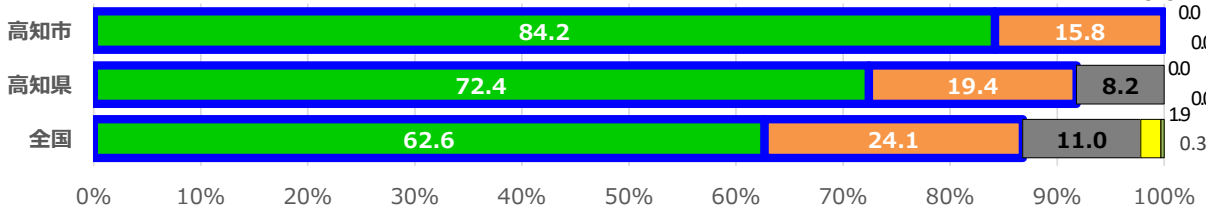
令和5年度

■ ほぼ毎日 ■ 週3回以上 ■ 週1回以上 ■ 月1回以上 ■ 月1回未満

小学校第6学年

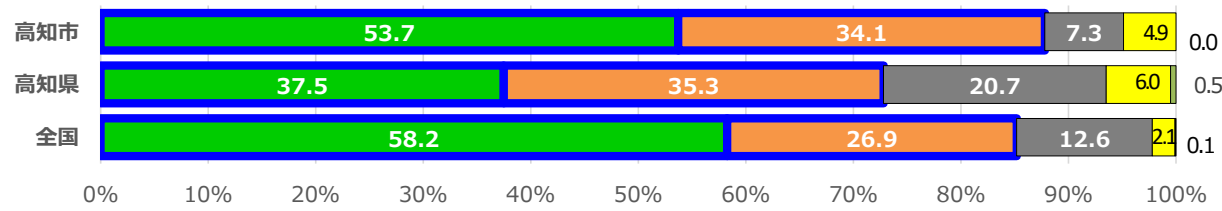


中学校第3学年

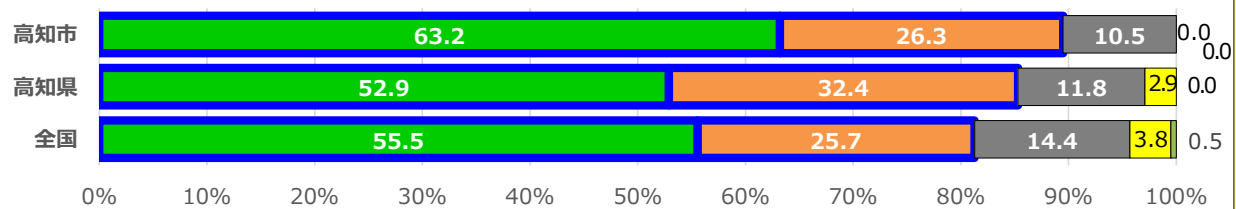


令和4年度

小学校第6学年



中学校第3学年



タブレットなどの端末を授業で活用することについては、昨年度よりも進んでいます。

6 ICTを活用した学習状況②

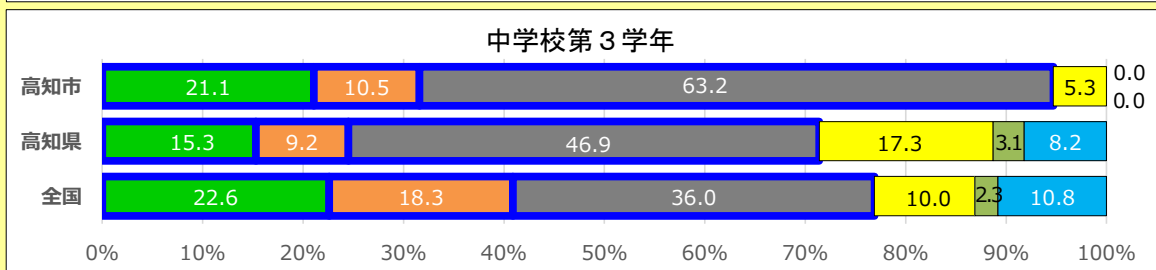
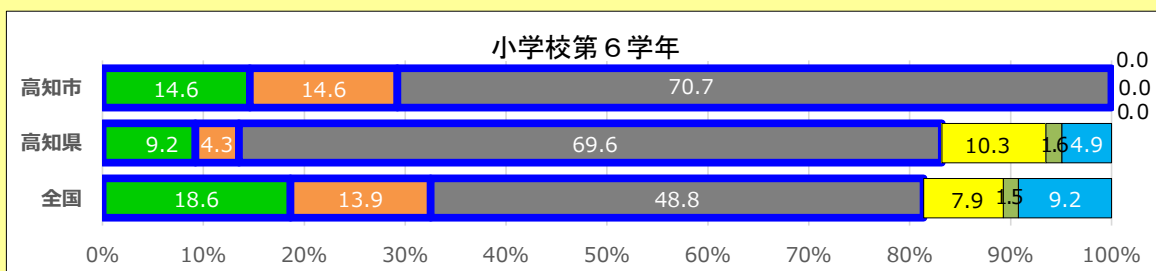
学校質問紙

【63・71】 児童（生徒）一人一人に配備されたPC・タブレットなどの端末を、どの程度家庭で利用できるようにしていますか

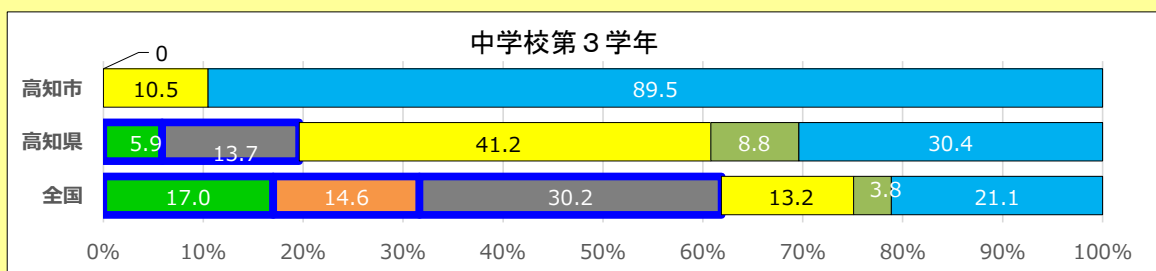
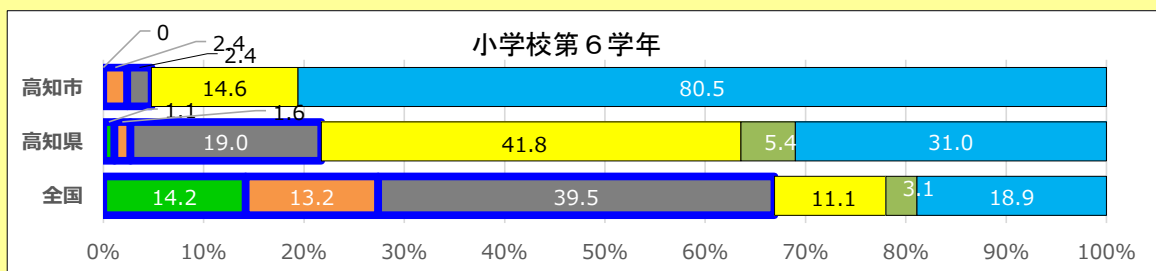
- ・ 家庭で端末を「毎日」もしくは「ときどき」持ち帰って利用する割合は、県や全国よりも高くなっている。

令和5年度

■ 毎日持ち帰って毎日利用 ■ 毎日持ち帰って時々利用 ■ 時々持ち帰って時々利用 ■ 持ち帰らせていない ■ 持ち帰ってはいいけない ■ 臨時休業等の非常時のみ



令和4年度



タブレットなどの端末を家庭へ持ち帰ることについての取組は、昨年度よりも飛躍的に進んでいます。

質問紙調査から見られる課題（英語）

学校における言語活動の実施状況

【学校の指導状況】

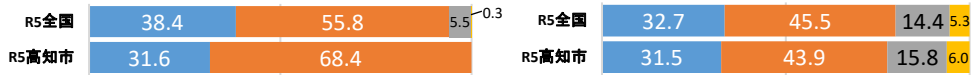
- よく行った
- どちらかといえば、行った
- あまり行わなかった
- 全く行わなかった

【生徒の受け止め】

- 当てはまる
- どちらかといえば、当てはまる
- どちらかといえば、当てはまらない
- 当てはまらない

聞く

英語を聞いて（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる言語活動を行ったか



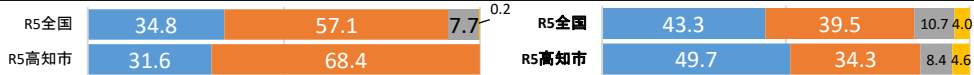
読む

英語を読んで（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる言語活動を行ったか

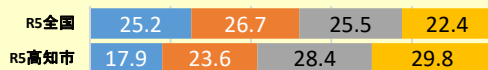


書く

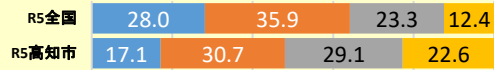
自分の考えや気持ちなどを英語で書く言語活動を行ったか



【生徒】英語の学習は好きですか



【生徒】英語の授業の内容はよくわかりますか



- 当てはまる
- どちらかといえば、当てはまる
- どちらかといえば、当てはまらない
- 当てはまらない

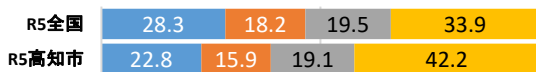
●学校における言語活動の実施状況の肯定的回答は、上記の項目において全国より上回っており、生徒の受け止めとしても、「聞く」と「読む」の肯定的回答が全国を下回るものの、「書く」においては全国を上回っている状況である。しかし、英語に対する意欲や授業の内容の理解度については、全国を下回る結果となった。

➡授業や各種調査等で学力の定着状況を見取り、適切な手立てや指導の改善が必要。

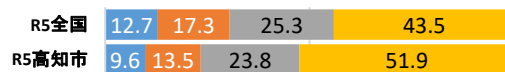
授業以外の取組状況

英語の授業以外にも、日常的に英語を使う機会があったか

【児童の受け止め】



【生徒の受け止め】



- 当てはまる
- どちらかといえば、当てはまる
- どちらかといえば、当てはまらない
- 当てはまらない

家庭学習の課題（宿題）として、PC・タブレットなどのICT機器を使用して、英語の学習をどの程度行ったか



- 週3回以上
- 週1回程度
- 月1回程度
- 月1回未満
- 行っていない

●小学校第6学年と中学校第3学年の授業以外の取組状況において、肯定的回答が全国を下回り、課題につながる取組の要因として考えられる。

➡子供が意欲的に英語を使う環境を提供し、活用頻度を高める取組が必要。

高知市における不登校の状況について

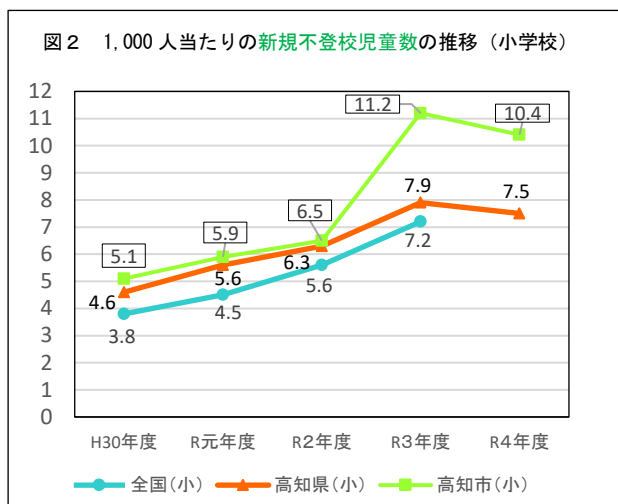
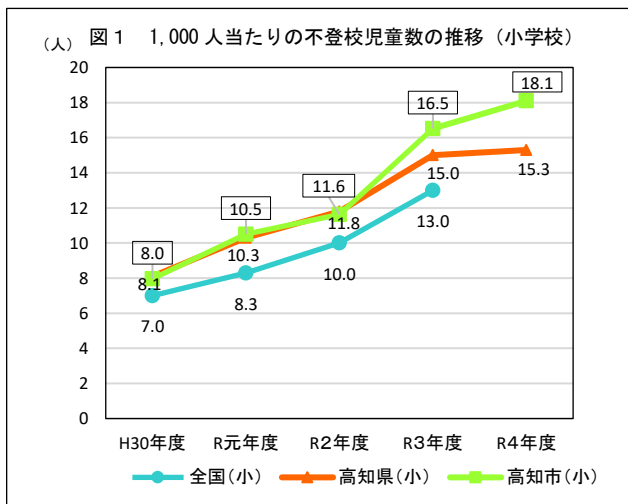
高知市教育研究所

※ 下記の表及び図の数値については、「高知市欠席児童生徒調査」及び「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」（文部科学省）によるものである。なお、以下に記載する「小学校」は義務教育学校前期課程、「中学校」は義務教育学校後期課程を含むものである。

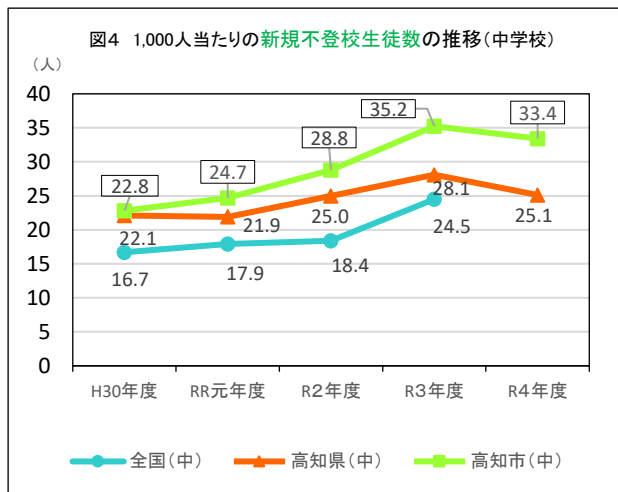
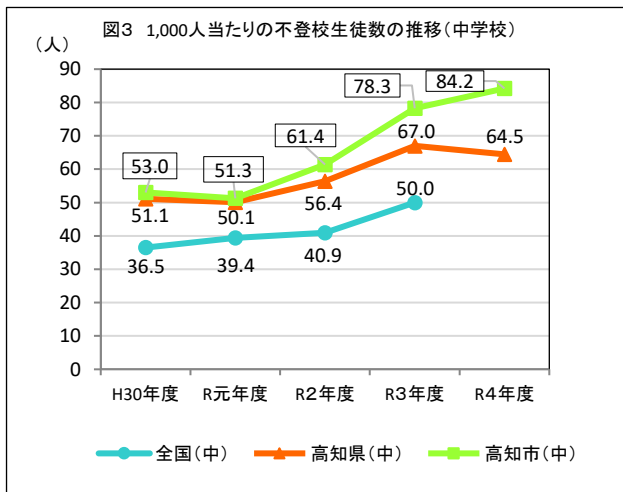
1 1000人当たりの不登校児童生徒の推移(高知市立小・中学校)

- ・ 不登校児童生徒数は、小・中学校ともに増加の一途をたどっている。特に中学校においては、県との開きも大きく、大変厳しい状況が続いている。
- ・ 令和4年度の新規不登校児童生徒数については、小・中学校ともに、過去5年間に於いて初めて減少に転じている。

(1) 小学校【H30年度～令和4年度（速報値）】



(2) 中学校【H30年度～令和4年度（速報値）】



2 不登校児童生徒への支援結果状況

- 各学校における取組により、登校する又は登校できるようになった児童生徒の割合は、小・中学校ともに、令和3年度の本市の割合を上回っている。

表1 指導の結果登校する又は登校できるようになった児童生徒の割合

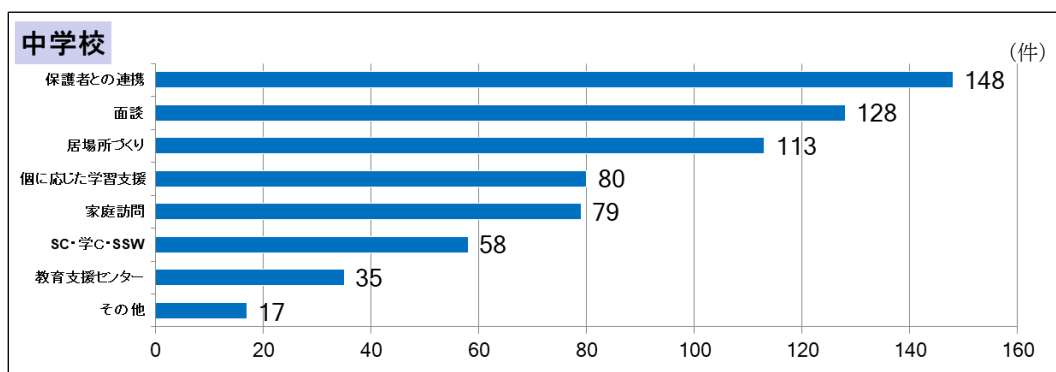
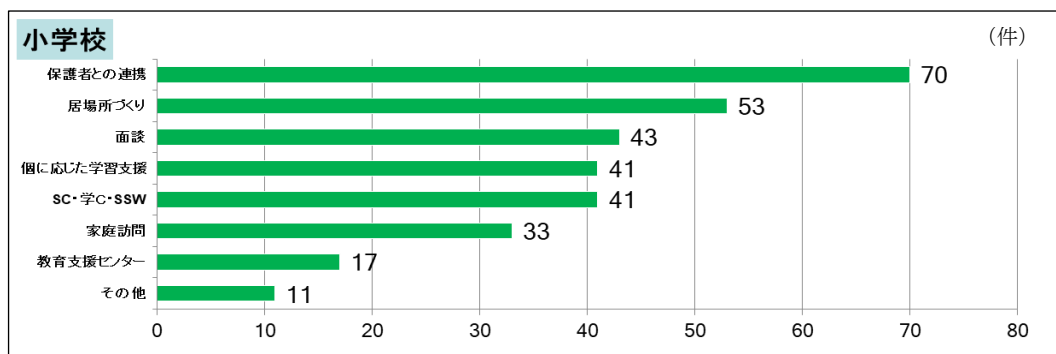
全国 R3	小合計(公立)	27.1%
	中合計(公立)	28.1%
本市 R3	小合計(公立)	20.2%
	中合計(公立)	26.8%
本市 R4 (5月)	小合計(公立)	36.7%
	中合計(公立)	49.5%

※ 「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」(文部科学省)では、「指導の結果登校する又はできるようになった児童生徒」とは、各学校が以下の例を参考に、個々の児童生徒の状況に応じて判断し、継続的に登校できるようになったと認めた者をいう。

- 1学期中は全く登校できなかったが、教育支援センターで支援を受ける中で、特定の教科の学習に興味を持てるようになり、3学期には、興味がある教科の授業がある日は登校できるようになった。
- 中学3年生で2学期の前半までは月1回程度しか登校できなかったが、担任が家庭訪問を繰り返す中で将来の進路などを自ら考えるようになり、その後、週に1回程度は登校するようになった。

3 不登校支援において効果的な取組

図5 登校できる又は部分登校できるようになった効果的な取組(複数選択可) 令和4年度高知市児童生徒欠席調査



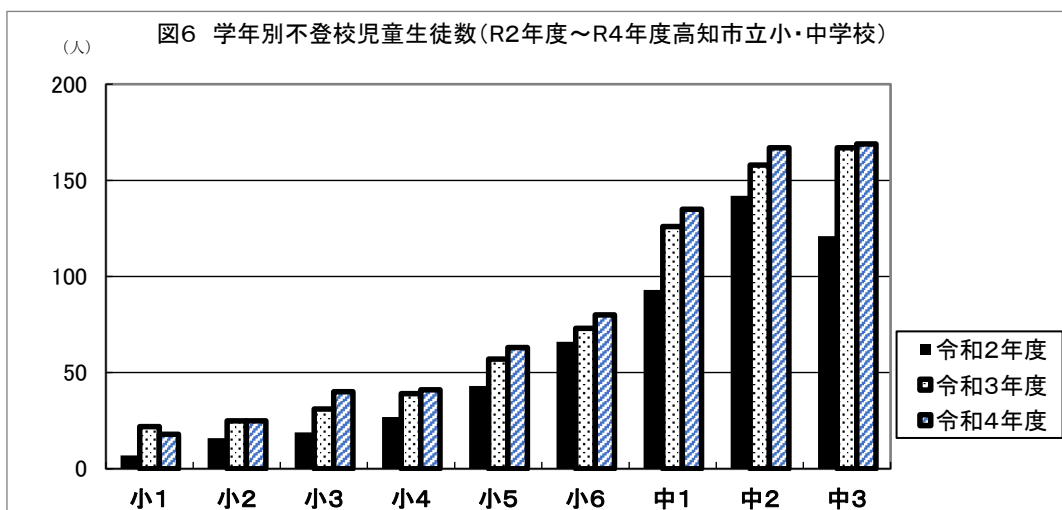
4 学年別の不登校児童生徒の状況(高知市立小・中学校)

- ・小学校低学年においては、令和4年度は令和3年度より減少傾向である。
- ・小学3年生以降については、いずれの学年も増加傾向にある。特に、中学1年生において急増している状況が続いており、中学1年生の新規不登校児童生徒数の割合を見ると令和4年度は65.2%を占めている。

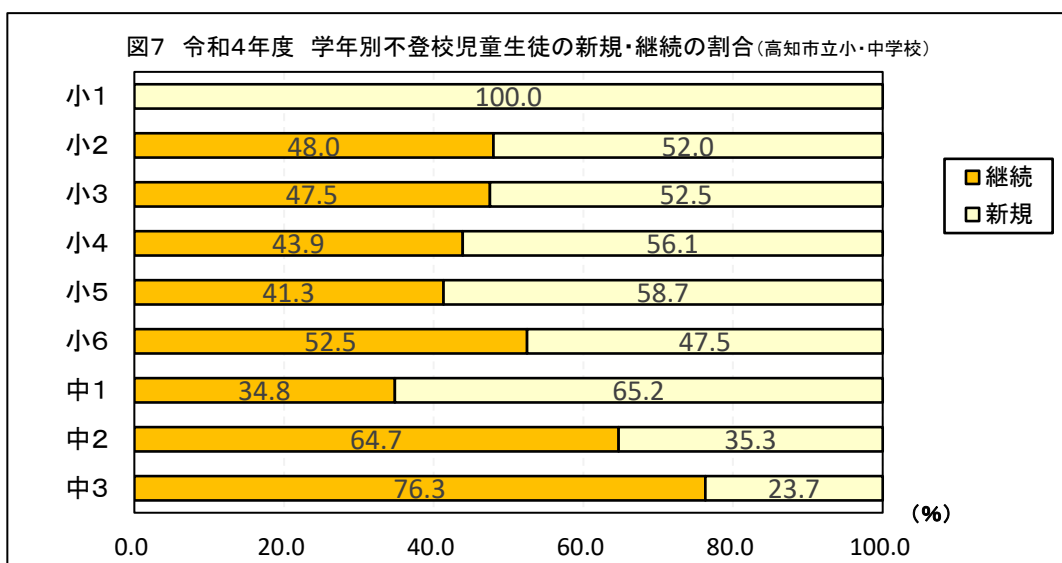
(1) 学年別不登校児童生徒数 (R2年度～R4年度高知市立小・中学校)

表2 高知市立学校における学年別不登校児童生徒数 単位(人)

年度	小学生							中学生			
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	小学校計	1年生	2年生	3年生	中学校計
令和2年度	7	16	19	27	43	66	178	93	142	121	356
令和3年度	22	25	31	39	57	73	247	126	158	167	451
令和4年度	18	25	40	41	63	80	267	135	167	169	471



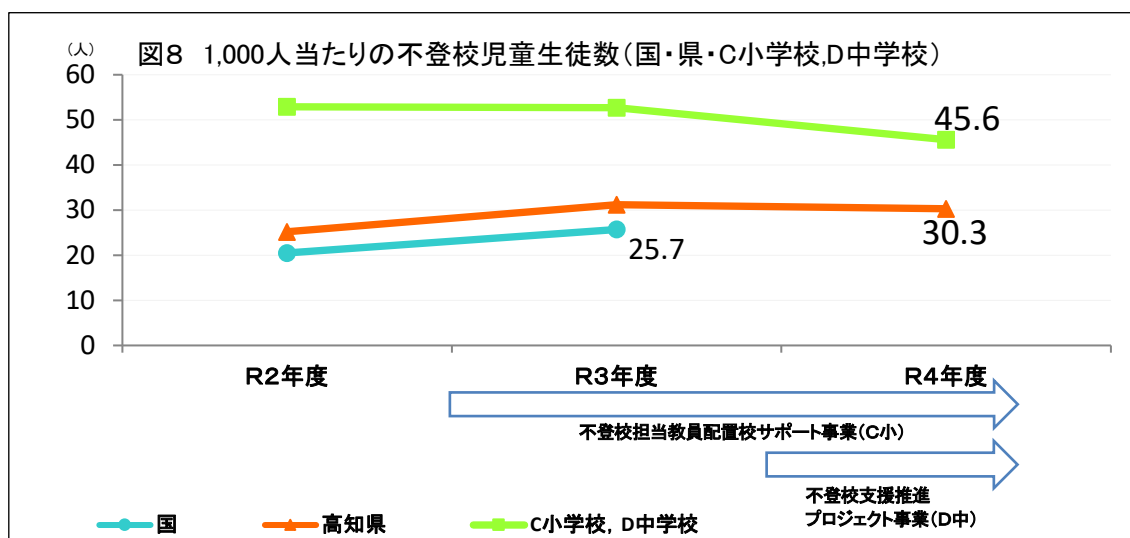
(2) 令和4年度 学年別不登校児童生徒の新規・継続の割合 (高知市立小・中学校)



5 校区内連携による不登校の未然防止の取組状況

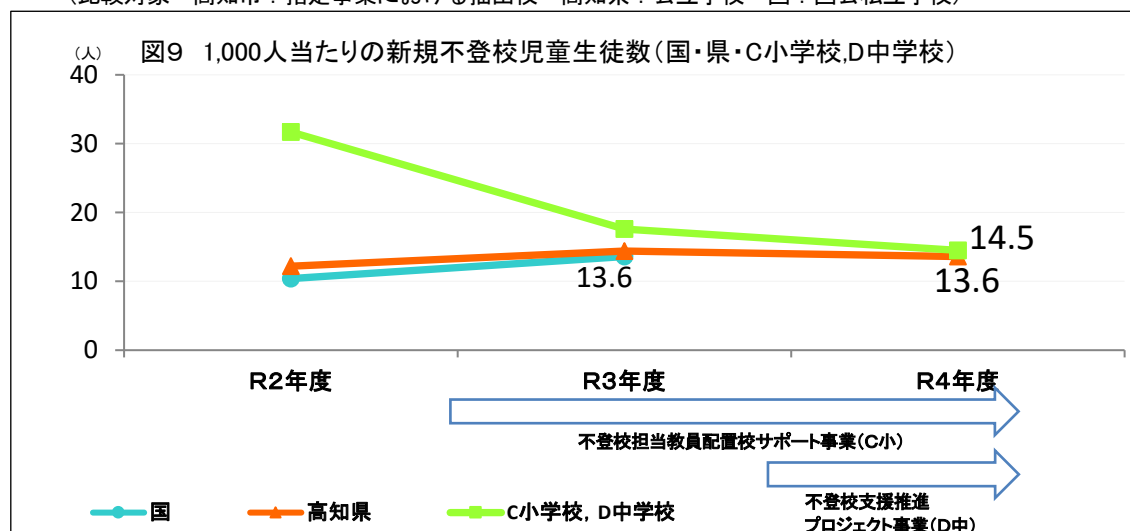
(1) 抽出校における1,000人当たりの不登校児童生徒数推移

(比較対象 高知市：指定事業における抽出校・高知県：公立学校・国：国公立学校)



(2) 抽出校における1,000人当たりの新規不登校児童生徒数推移

(比較対象 高知市：指定事業における抽出校・高知県：公立学校・国：国公立学校)



高知市立C小学校:令和5年度 個別最適な支援をつなぐ校区内連携事業
高知市立D中学校:令和5年度 不登校支援推進プロジェクト事業

校区間連携による未然防止の取組内容(令和3年度~令和5年度)	
①担当教員の資質・能力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校担当教員連絡会を実施(年5回) ・不登校支援ブラッシュアップ研修会を実施(年5回)
②校内支援委員会の質的向上	<ul style="list-style-type: none"> ・各校の校内支援委員会に教育研究所, SC, SSWが参加し, 必要な支援等について助言 ・小中学校双方の校内支援委員会に担当教員, サポートルームコーディネーターが参加し, 情報共有
③児童生徒間交流	<ul style="list-style-type: none"> ・D中学校区内の校種間交流
④個に応じた切れ目のない支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校での情報整理, 情報共有 【管理職, 学級担任, 養護教諭, 児童生徒支援担当者, 不登校支援担当教員, SSW】
⑤関係機関との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> ・校内支援委員会(個別ケース会含む)へのSSWの参加, 市の児童福祉担当部署等との連携
⑥児童生徒理解	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校でアンケートを実施(「教職員・子どもの意識調査」)

6 令和5年度における高知県不登校事業指定校に係る高知市(4校区8校)の取組状況

表3 配置校8校及び高知市立学校における不登校・新規不登校出現率の3年間の推移(7月末時点)

		不登校出現率(%)			新規不登校出現率(%)		
		R3	R4	R5	R3	R4	R5
小学校	h小学校	0.35	1.13	0.00	0.18	0.19	0.00
	※i小学校	2.65	2.51	1.39	0.29	1.57	1.04
	※j小学校	0.99	2.06	1.81	0.99	0.59	0.15
	※k小学校	0.75	1.32	0.00	0.38	0.75	0.00
小計	配置校小計	1.03	1.70	0.82	0.51	0.68	0.20
	市全体小計	1.00	1.06		0.54	0.41	
市全体と配置校の差		0.03	0.64		-0.03	0.27	
中学校	※H中学校	5.11	5.12	5.99	0.73	1.40	0.69
	※I中学校	8.14	9.76	5.26	2.33	0.00	0.53
	※J中学校	7.68	9.57	10.24	3.07	1.88	2.17
	K中学校	3.92	2.27	8.12	0.84	0.00	2.03
小計	配置校中計	6.09	6.55	7.85	1.78	1.08	1.49
	市全体中計	6.18	6.20		2.01	1.22	
市全体と配置校の差		-0.09	0.35		-0.23	-0.13	

※印は、令和4年度まで不登校担当教員サポート事業又は不登校支援推進プロジェクト事業の配置校
 ※この表における不登校とは、欠席合計が10日以上の不登校(傾向)の児童生徒

校区内連携による不登校の未然防止に向けた特徴的な取組 <small>※ 令和5年度実施予定分を含む</small>		
【人・支援をつなぐ】	【変化に気付く】	【共に動く】
<ul style="list-style-type: none"> 支援内容や連携内容の共有 小小連携, 小中連携による児童生徒間交流の実施 中学校教員の小学校への乗り入れ授業の実施 中学校入学前のサポートルームの体験入学の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 不登校支援委員会への相互乗り入れ, 欠席状況や支援状況等の把握 小中学校間での兄弟姉妹の登校状況の把握 不登校支援委員会へのSSW, SCの参加 	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて, SSWと小・中学校の教員が共に家庭訪問を実施 中学校の教員が小学校のサポートルームを訪問

成果の普及について
<ol style="list-style-type: none"> 効果的な支援を引き継ぐ支援シート高知市モデル(令和6年2月定例校長会で周知) 日常的な小小連携・小小連携の高知市モデル(リーフレットの作成及び活用促進) 不登校の子どもたちの学び場づくりの高知市モデル(不登校支援推進協議会で紹介)

7 包括的な不登校支援の推進に向けて(不登校支援推進協議会)

【概要】

教育・福祉・医療などの専門的知識を有する委員からの提言を受け、将来的な不登校支援の在り方や、社会的に自立することを目指し、それぞれの部署や組織で行うべき新たなアプローチを展開する。

(1) 委員の構成

福祉	1	高知市社会福祉協議会 共に生きる課 高知市生活支援相談センター 副主監
医療	2	高知大学医学部寄付講座児童青年期精神医学特任教授
心理	3	高知市教育委員会人権こども支援課 心の教育アドバイザー 臨床心理士 公認心理師
	4	高知県立大学名誉教授臨床心理士
大学	5	高知大学教育研究部 人文社会科学系 副学系長
法制	6	あさひの風法律事務所 弁護士
企業	7	三翠園 お客様係&代表取締役社長
不登校経験者	8	株式会社ブランド高知社長
フリースクール	9	NPO 法人サポートネットワーク代表
園・学校	10	春野弘岡中保育園園長
	11	鴨田小学校長
	12	南海中学校長
	13	太平洋学園高等学校長
不登校児童生徒 の保護者	14	保護者代表
	15	保護者代表

(2) 不登校支援推進協議会（以下協議会）及びワーキング（以下WG）のスケジュール

	内 容
令和5年度 第1回協議会 5月31日実施	<ul style="list-style-type: none"> 高知市の不登校児童生徒の現状と高知市の不登校対策 高知市の不登校対策の検証 学校における不登校支援のあり方の検証
・第1回WG	高知市の不登校の現状と各部署での関わり
・第2回WG	<ul style="list-style-type: none"> 高知市の不登校を生じさせない学校づくりの検証 医療や福祉・企業等との連携
・第3回WG	<ul style="list-style-type: none"> 提言（案）の内容の整理 第2回協議会における提案内容の検討
第2回協議会 10月16日予定	<ul style="list-style-type: none"> 不登校児童生徒の学びの場や就労先、福祉の充実に関すること 不登校児童生徒が安心して生活できる環境をつくるための提言に関すること
・第4回WG	第3回協議会に向けて
第3回協議会 (2月予定)	不登校児童生徒が安心して生活できる環境をつくるための提言の方向性
令和6年度 第1回協議会 ※WGも適宜開催	提言書の検討
第2回協議会	<ul style="list-style-type: none"> 提言書完成 令和7年度からの新規事業の検討
第3回協議会	<ul style="list-style-type: none"> 教育長への提言 令和7年度からの新規事業の提案

高知県・高知市 知事・市長及び教育長連携会議
 高知市の取組及び「保幼小の架け橋プログラム事業」の状況について
 高知市教育委員会 学校教育課

1 保幼小連携推進地区事業等の取組

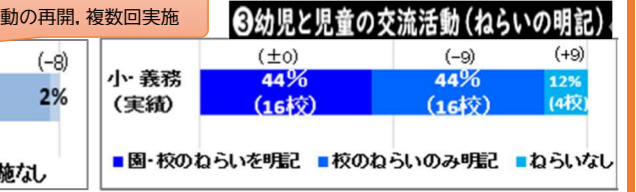
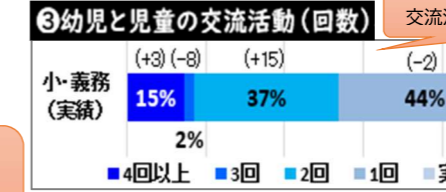
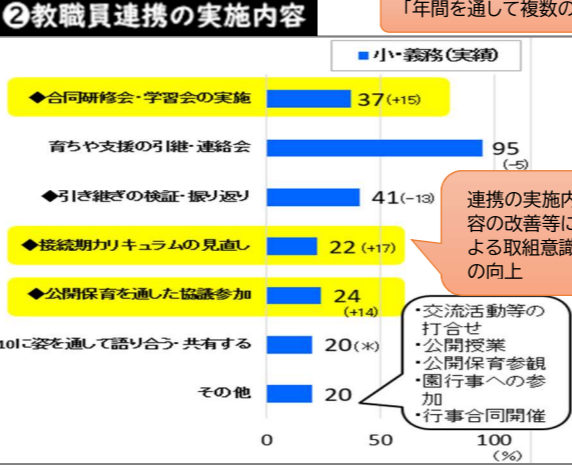
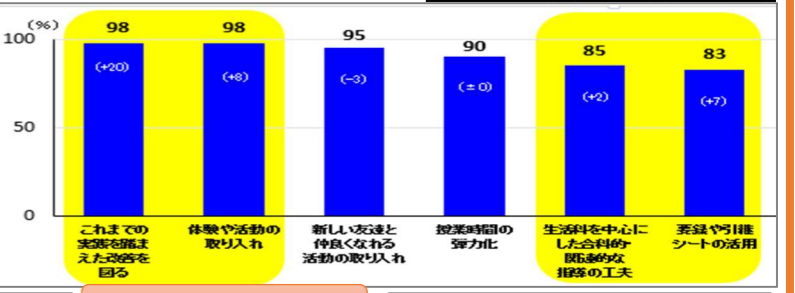
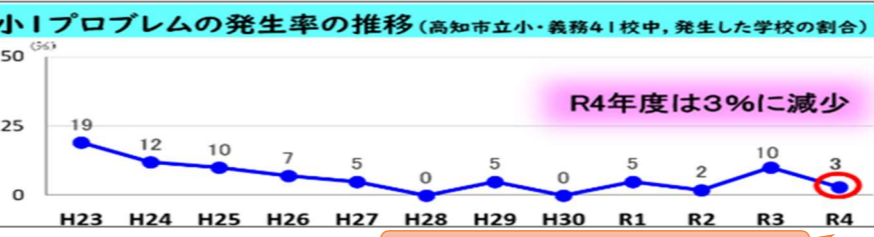
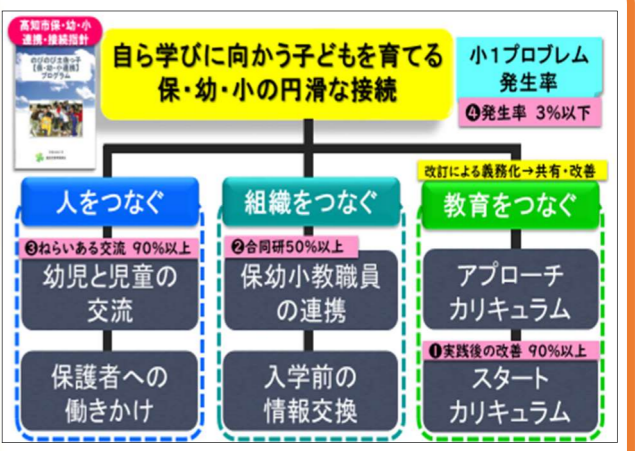
- R5年度 41全校区のべ 115園
- 学校訪問や要請支援、計画書・報告書により取組状況を把握・支援
- 取組の周知・啓発
 - ・保幼小全教職員配付の実践事例パンフレット作成・配付および接続期カリキュラム例等を含めたホームページへの掲載
 - ・全小担当者研修(連絡協議会)での実践報告・交流
 - ・高知市幼児教育推進協議会(代表者・関係者委員会)での報告・協議



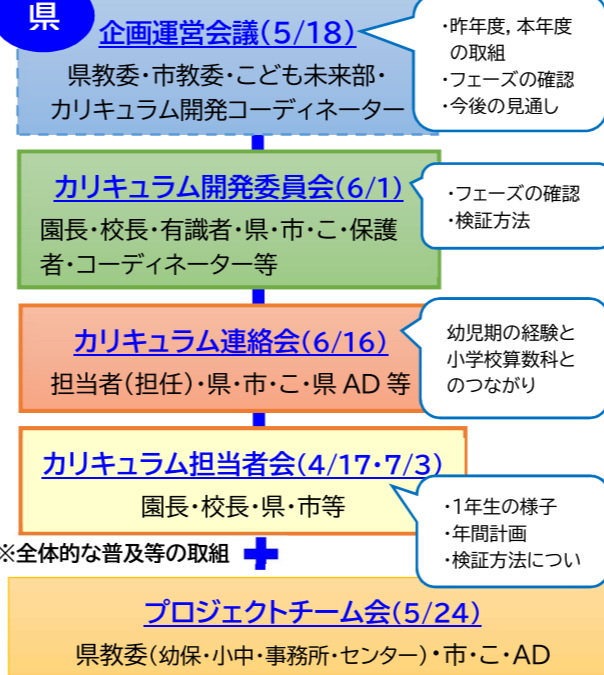
令和5年度保・幼・小連携推進地区事業 実施地域 (各小学校区の保育所及び幼稚園、認定こども園一覧)	
2023.5 高知市教育委員会学校教育課	
学校名	学校名
3 第四小	26 朝倉小
4 第六小	27 鴨田小
5 江ノ口小	28 一ツ橋小
6 江陽小	29 介良小
7 旭小	30 大津小
8 旭東小	31 朝倉第二小
9 潮江小	32 潮江南小
10 潮江東小	33 神田小
11 小高坂小	34 泉野小
12 昭和小	35 一宮東小
13 奏小	36 十津小
14 初月小	37 横浜新町小
15 横浜小	38 介良湖見台小
16 長浜小	39 横内小
18 浦戸小	40 鏡小
19 三里小	42 春野東小
20 五台山小	43 春野西小
21 高須小	44 はりまや橋小
22 布師田小	80 行川学園
23 一宮小	81 土佐山学舎
24 久重小	
21	57
41	20
	58
	115

2 これまでの成果と課題

- R4年度「保幼小連携・接続に関する調査(全41校)」,「保幼小連携推進地区事業報告書」より
 - 【成果】・スタートカリキュラムの見直しによる指導の工夫や、教職員連携・交流活動の再開及び内容の改善が進み、小1プロブレムの発生率が3%にまで減少。
 - ・公立5歳児園内研修(こども未来部との連携)による教職員の幼児教育の理解。
 - 【課題】・組織的な理解と共有
 - ・スタートカリキュラムの質の向上
- 小学校学習指導要領等を踏まえた成果指標の達成状況
 - ① スタートカリキュラムの実施を踏まえた改善 90%以上(R3 78% ⇒ R4 98%)
 - ② 教職員の学習会や合同研修等の実施 50%以上(R3 61% ⇒ R4 65%)
 - ③ ねらいある幼児と児童の交流活動の実施 90%以上(R3 80% ⇒ R4 78%)
 - ④ 小1プロブレム発生率 3%以下(R3 10% ⇒ R4 3%)



3 「保幼小の架け橋プログラム事業」について



1. 春野東小学校区の取組状況と主な成果

◆教員等が子供の育ちを中心に据え、互いの教育内容を話し合う取組の継続

- 【春野東小】1学年支援(随時) 生活科指導や交流活動等の支援(県AD)
- 【春野東小校区5園】保育公開 保育公開の日程調整等の支援(県SV・AD)

◎子供の育ちに関する課題に改善傾向

- 教員の意識改革に伴う授業改善 ⇒ 幼児期の経験を踏まえた授業づくり
- R5年度1年生長期欠席・不登校なし

◎5歳児保育及び園全体の質向上を目指す取組の充実

- 5園の取組の共有
- 園での経験と小学校教育とのつながり

2. 市内全域への普及に向けた取組

R4年度◆高知市保幼小連携・接続研修会(全国・校教職員対象)【1月】

- ・国学院大学の吉永安里准教授による講話
- ◆『保幼小の円滑な接続 DVD』配付(全国・小・義務)【3月】

R5年度◆『接続 DVD』活用促進のための学校訪問(全41校)【4月】

- ◆協議会等での架け橋事業の取組周知【5月~】
- 【保幼小の架け橋プログラムシンポジウム】【12/26】
- ◆モデル地区の実践及び先進的な事例をまとめたパンフレットの作成・配付【3月】
- ・高知市の全国・校教職員